

前準備：堆肥 4袋(60kg) 鶏糞2袋(30kg)は
2月中に耕耘機にて混ぜ込み済です

大根のマルチ引き(④列目)

- 施肥：化成8号、石灰、アツミン 各1杯(約200g)
- マルチ9230中をひく

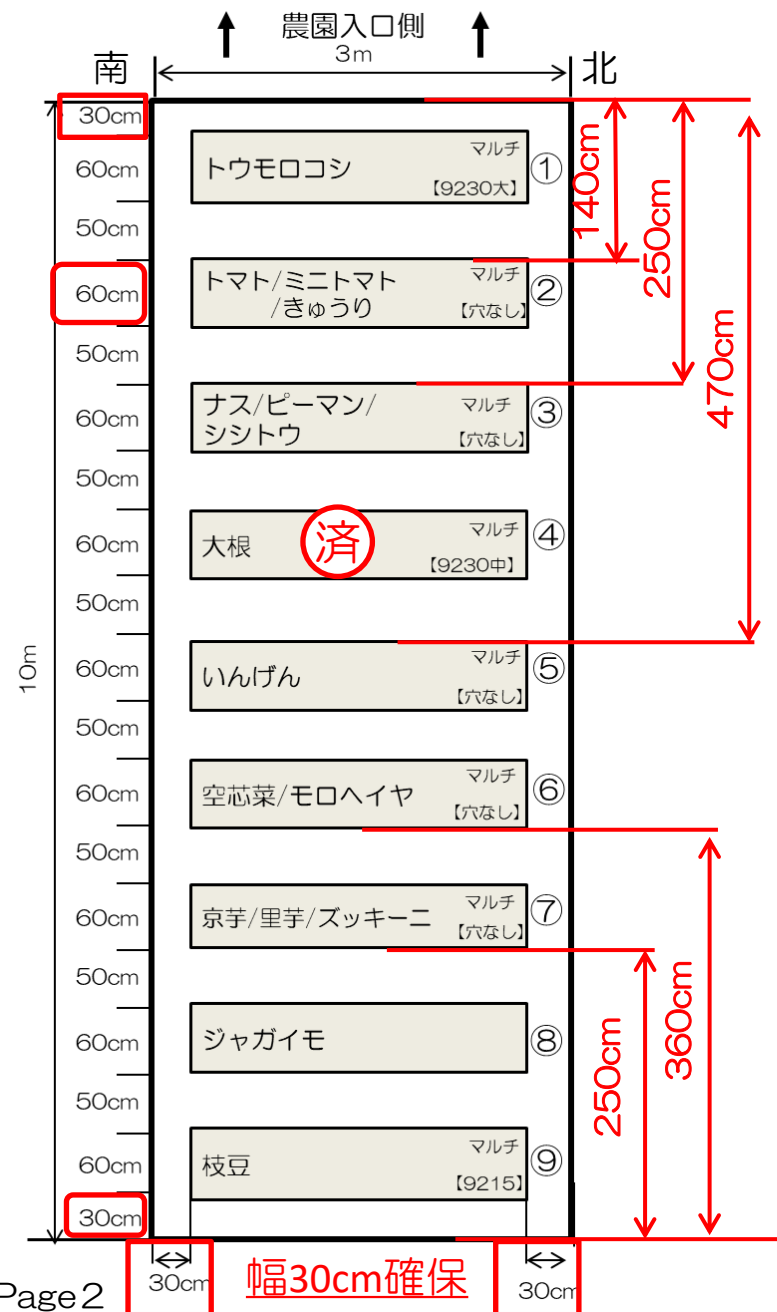
できるだけ3/10まで

マルチ引き手順

3ページ以降のマルチ引き資料を読んで作業ください
自信がない方は指導しますのでお声がけください

- 採寸し、うね両端に間縄を引く
- 間縄の内部に施肥した後、レーキで肥料をうね全体に混ぜる
- うねを塩ビパイプ等を使って平らにする
(凸凹にすると水が溜まります)
- うね全周を掘る 側面→前後
通路部の30cmは必ず確保ください(スコップ幅分)
慣れないうちは角スコップを使うと楽です。
注1.土はうねに垂直に掘り、土はうね外側によける
注2.4隅部をしっかりと掘る
- マルチを覆い、左右に引っ張りながら溝に埋め込む
しわが出ないようにマルチの縁をしっかりと押し込む。

体験農園(小牧園)講習会 令和6年度 春のマルチ引き 2024/3/1~4/14



④列：大根以降のマルチひきです

これ以降肥料は全て同一です **マルチの種類に注意**
優先順位が高い順番に記載しています

□ トウモロコシのマルチひき(①列目)

- ・ 施肥：野菜名人、石灰、アツミン 各1杯(約200g)
- ・ **マルチ9230大**をひく

3/24まで

□ 枝豆のマルチ引き(⑨列目)

- ・ 施肥：野菜名人、石灰、アツミン 各1杯(約200g)
- ・ **マルチ9215**をひく

□ いんげんのマルチ引き(⑤列目)

- ・ 施肥：野菜名人、石灰、アツミン 各1杯(約200g)
- ・ **穴なしマルチ**をひく

3/31まで

□ トマト/きゅうり(②列目)

- ・ 施肥：野菜名人、アズミン、石灰 各1杯(約200g)
- ・ **穴なしマルチ**をひく

※できるだけマルチ幅60cmを確保するように！
狭いと支柱立て/植付の際、苦労します

□ ナス/ししとう/ピーマン列(③列目)

- ・ 施肥：野菜名人、アズミン、石灰 各1杯(約200g)
- ・ **穴なしマルチ**をひく

4/7まで

□ イモ類/ズッキーニ(⑦列目)

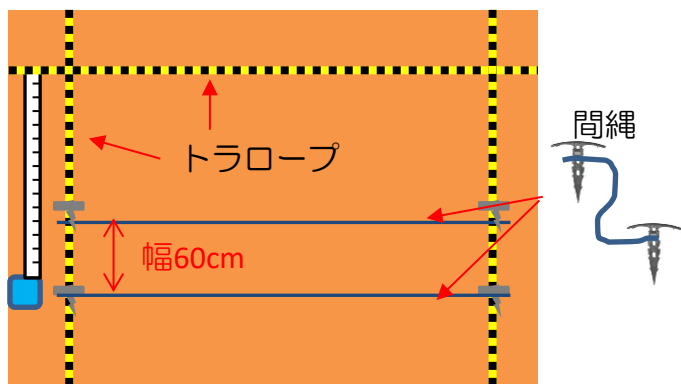
- ・ 施肥：野菜名人、石灰、アツミン 各1杯(約200g)
- ・ **穴なしマルチ**をひく

□ 空芯菜/モロヘイヤ(⑥列目)

- ・ 施肥：野菜名人、石灰、アツミン 各1杯(約200g)
- ・ **穴なしマルチ**をひく

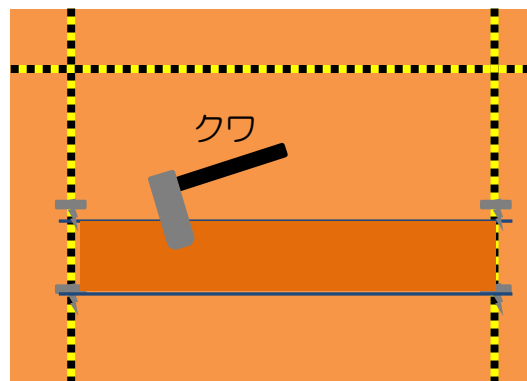
4/14まで

1：採寸



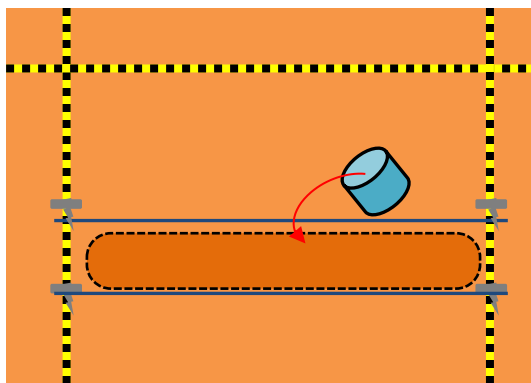
トラロープを基準に、寸法をはかります
うねの両端に間縄をひきます

補足作業：耕運(任意)

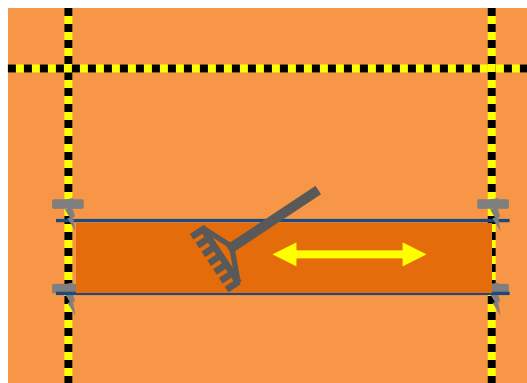


春は耕運機で耕運済のため、個別に耕運する必要はありません。
ただし、土をより柔らかくしたい方、誤って踏み固めてしまった方は、採寸作業後のタイミングで耕運してください

2：肥料まき

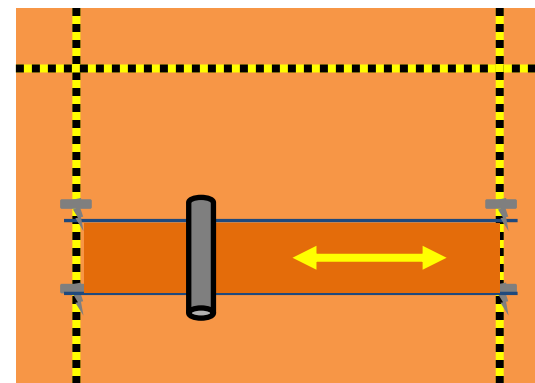


間縄の間に肥料をまきます



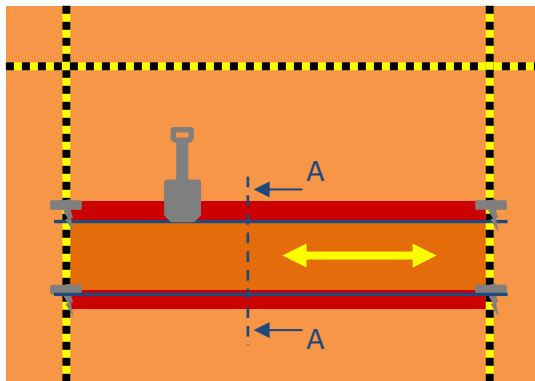
レーキ等で肥料をなじませます

3：平坦化

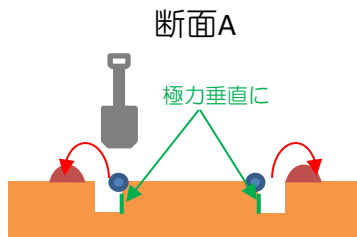


塩ビパイプで表面を平らにします
※表面が凸凹していると
マルチに水が溜まります

4：長手側の溝掘り



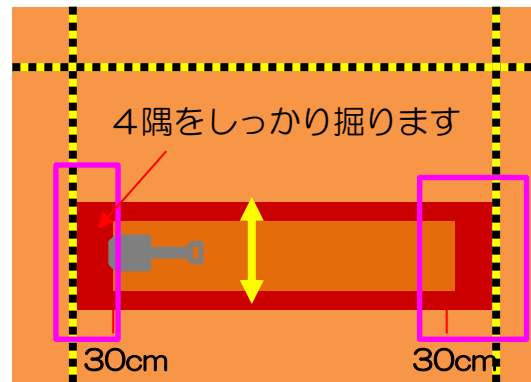
スコップを立て、間縄に対して垂直に掘っていきます



土は間縄の外側によけます

間縄長手側に溝を掘ります
慣れない方は角スコップがお勧めです

5：短手側の溝掘り



4隅をしっかり掘ります

間縄を外し、短手側に溝を掘ります
 ・通路分30cmを確保ください(重要)
 ※角スコップ幅が30cmの目安です
 ・長手側に比べ、深めに掘ります
 (小さいスコップで掘るといいです)

6：マルチひき

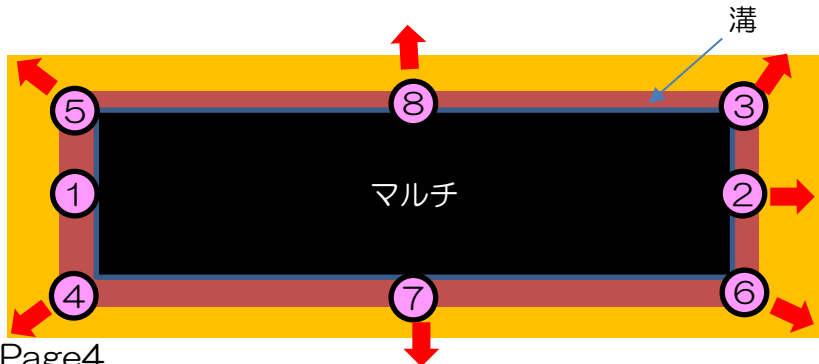
畝にマルチを被せたのち、土に埋めこむ

重要：マルチ端は垂直方向に埋め込みます(風で飛びにくくなります)

①~⑧の手順で行うとしわが少ないマルチをひけます



ポイント：マルチ端は垂直に埋め込む



- ①短手の中央部に土をかぶせる(以下の作業、マルチ端が外に出ないように注意する)
- ②反対側に移動し、マルチの中央を矢印方向に引っ張りながら土をかぶせる
- ③隅部を矢印方向に引っ張りながら土をかぶせる
- ④反対側に移動し、③の対角の隅部を矢印方向に引っ張りながら土をかぶせる
- ⑤⑥ ③、④と同じ作業を繰り返す
- ⑦長手側を矢印方向にしわを発生させないように引っ張りながら土をかぶせる
- ⑧反対側に移動し⑦と同様の作業を行う

補足1

マルチとは正式には「マルチング」と言い、土の表面をポリフィルム等で覆う作業を意味します。マルチを行う効果は、以下の通りです。

- ①地温を調整する ②土壌水分を保持する(乾燥防止)
- ③雑草の防除 ④土の跳ね返りを防ぐ(病害防除)

色も、黒/透明/シルバー等があり、それぞれ以下の効果が優れているという特徴があります。

黒：雑草防除 / 透明：地温調整 / シルバー：アブラムシ防除

当農園では雑草防除の効果が高い、黒のポリフィルムを多く使用しています。

ちなみに、マルチ9230の「9230」とは、マルチの種類を示しており、9→95cm幅/2→2列/30→30cm間隔を意味しております。カブ等で使う9415は、95cm幅/4列/15cmとなります。

当講習では、マルチ→穴なしマルチ、マルチ9×××→穴ありマルチと呼びます。

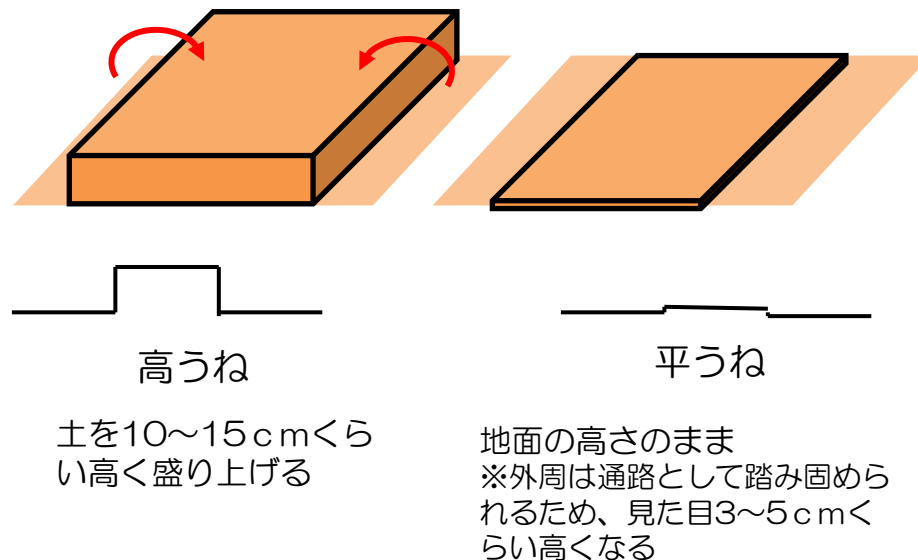
2種類以上のマルチ引きがある場合、間違えないように注意してください。

補足2

うね(畝の作り方は大きく分けて、高うね/平うねがあります。当農園は水はけがよいため、平うねで行っております。無理に高うねにする必要はありません。

本資料でおわकारの通り、当農園では高うねの作り方の指導は行っておりません

希望する方は高うねにしても構いませんが、マルチ側面の埋め込みが甘いと風で飛びやすくなるので、注意してください。



高うね

土を10~15cmくらい高く盛り上げる

平うね

地面の高さのまま
※外周は通路として踏み固められるため、見た目3~5cmくらい高くなる

「肥料について」

第一回講習では「畑づくり」では堆肥(農園側で実施済み)、「ジャガイモ植え」では配合肥料撒きといった作業があります。同じように感じるかもしれませんが、それぞれ目的が異なります。

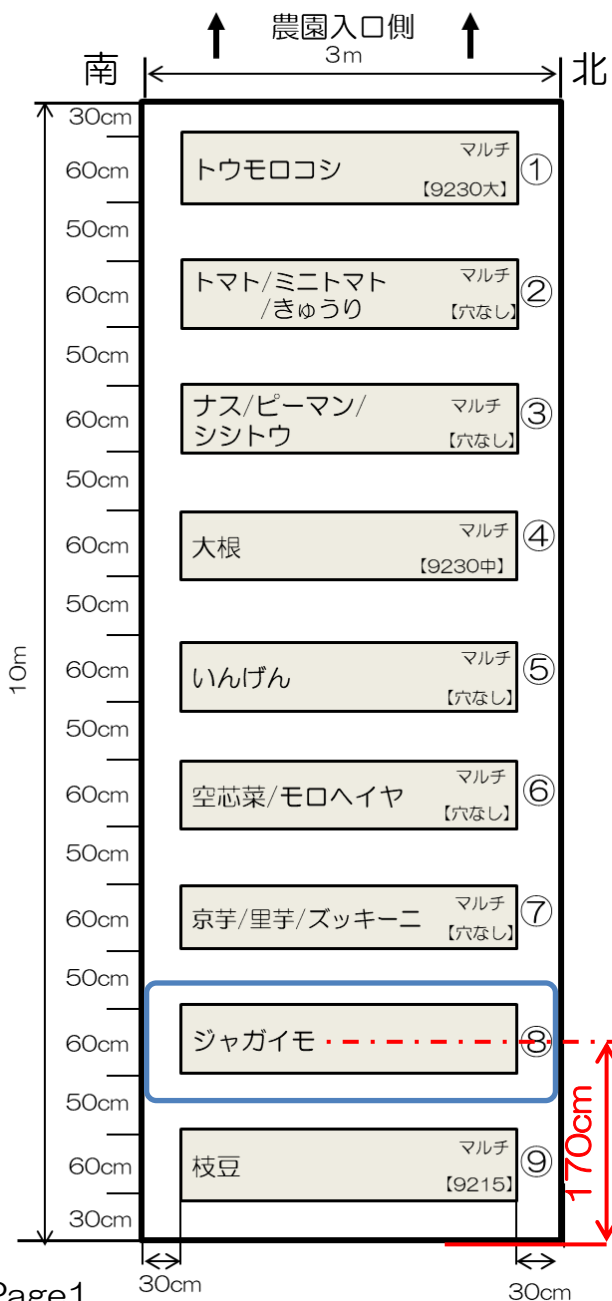
「畑づくり」の堆肥/石灰撒きは、**土壌を調整する**ことが主な目的です。

- 堆肥：土の保肥性/保水性/通気性等を高めたり、土中の微生物の活動を活発にすることで、土中の環境を良くする優れた「土壌改良材」としての働きをします。
- 石灰：土壌酸度を酸性→アルカリ性に変え、野菜が育ちやすいような酸度に調整します。

「ジャガイモ植え」の配合肥料撒きは、**野菜が成長するのに必要な栄養分を与える**ことが目的です。野菜に必要な三要素(窒素：N、リン：P、カリ：K)を与えます。

どちらも畑の状態により適正量が異なるため、本講習で示した量がそのまま他の畑(市民農園等)で使えるというわけではありません。ご注意ください

注：詳細は講習当日の指示に従ってください

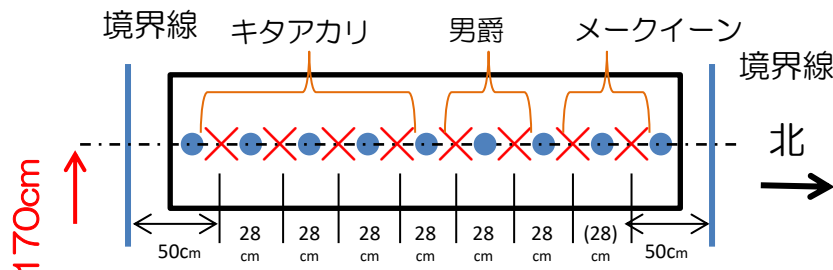


□ジャガイモの植付け(⑧列目)

キタアカリ：2個(4か所)、男爵：1個(2か所)

メイクーン1個(2か所)

- 種イモ切り(1/2にカット) ※芽があるところを残す
- **×指示部**に深さ約10cm程度の深さの穴をスコップで掘り、種イモを植え付ける(28cm間隔)
- 施肥(肥料：**野菜名人**) 1杯 → ●部に均等に撒く

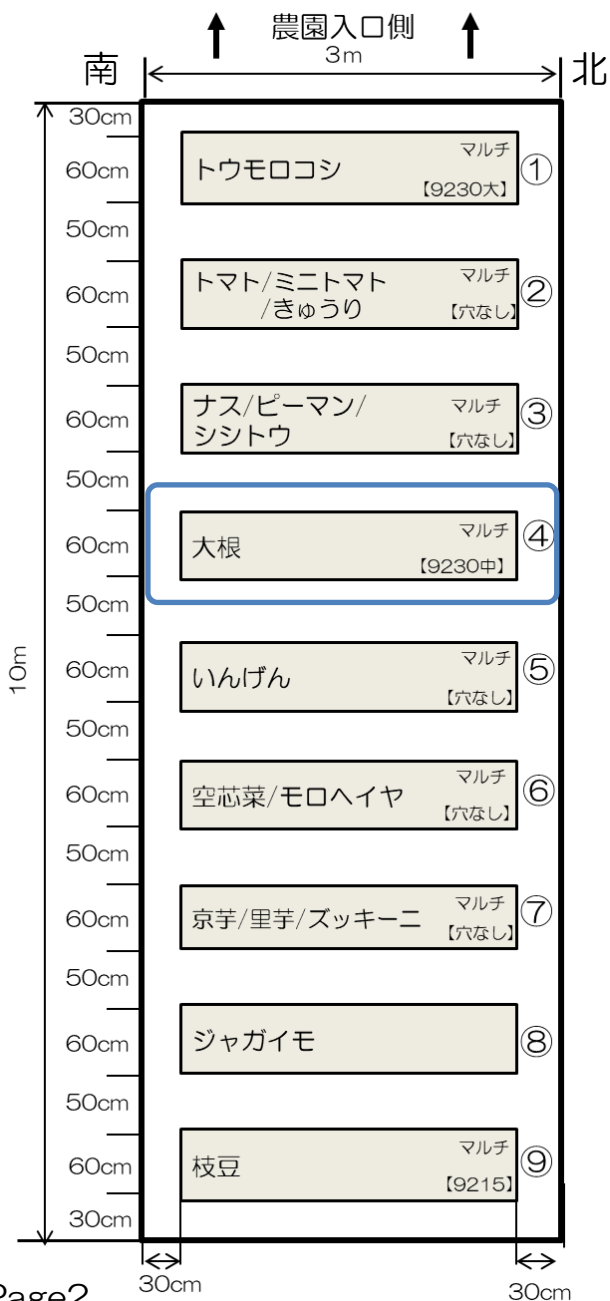


※標準は30cm間隔ですが、種イモを効率よく使えるよう間隔を狭めています。

注1. **区画/作付け位置に注意し、植付を行ってください。**

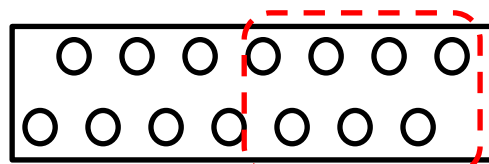
注2. 畝(うね)の作成や植付時に寸法を測る場合、**区画の境界線(トラロープ)を基準**としてください。区画内/区画間の通路が確保できなくなるためです。

注：詳細は講習当日の指示に従ってください

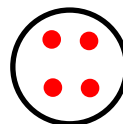


種まきは極力、マルチをひいて1週間ほど経過したのちに撒くようにしてください

- 大根の種まき(④列目) 品種：天寶(てんぼう)
- マルチ引き→春のマルチひき資料を確認ください
 - 種まき(半分/北側) **1穴4粒**



マルチ穴



種を1か所に固まらないよう、ばらして撒きます
事前に4つ穴を開けると楽です

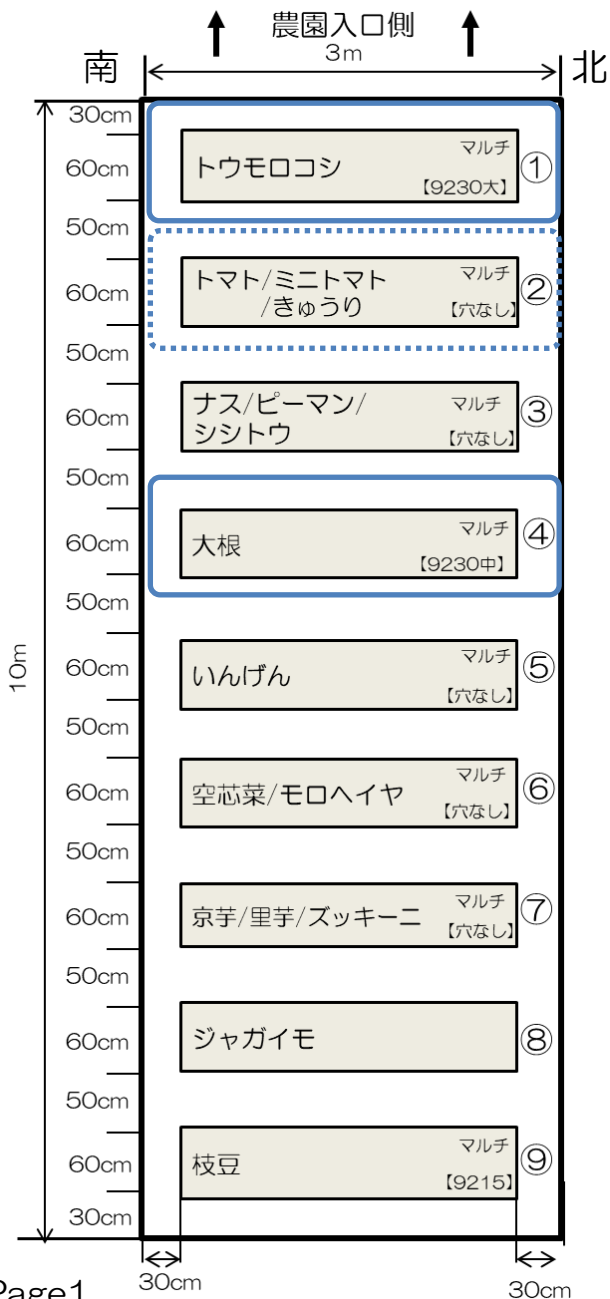
※最初の種まきから1週間後位に残りの種をまきます。

補足

大根種まきは一般的には4月に行いますが、大根後のニンジン種まき時期の都合上 **3週間程早めています。**

ニンジンの発芽率は梅雨の前後で極端に変わります。そのため可能な限り6月頭までに大根収穫を完了させ、6月2週目までに種まきを行うことを推奨しています。

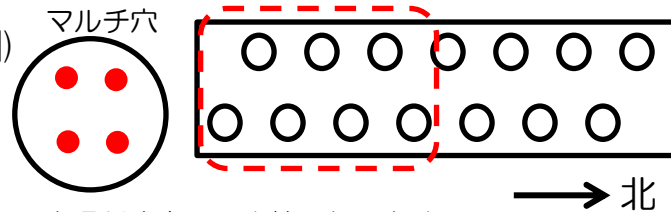
※なお昨年度、6月23日以降に種まきを行った方は、ほとんど発芽しなかったという事例があります。



□大根の種まき(①列目)

- 種まき(残り半分/南側)
- ※1穴4粒

種を1か所に固まらないよう、ばらして撒きます
指で4つ穴を空けると楽です



※先週種まきして発芽しない穴は
まき直し手ください

□トウモロコシのマルチ引き(①列目)→春のマルチ引き資料参照

- 3/24までに終了させてください

□トマト支柱立て(②列目)→マルチがひき終わり余裕ある方

継続の方 : 順次開始してください

指導を希望される方は講習時間帯に来てください

新規入園者 : 講習時間帯に指導します

体験農園(小牧園)講習会 トマト支柱たて作業要領

① 道具の準備

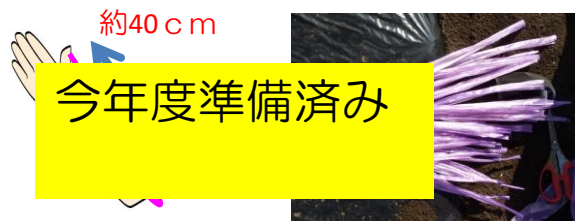
①-1 道具の準備

個人ボックスから以下を準備する

- ・メジャー
- ・間縄2セット

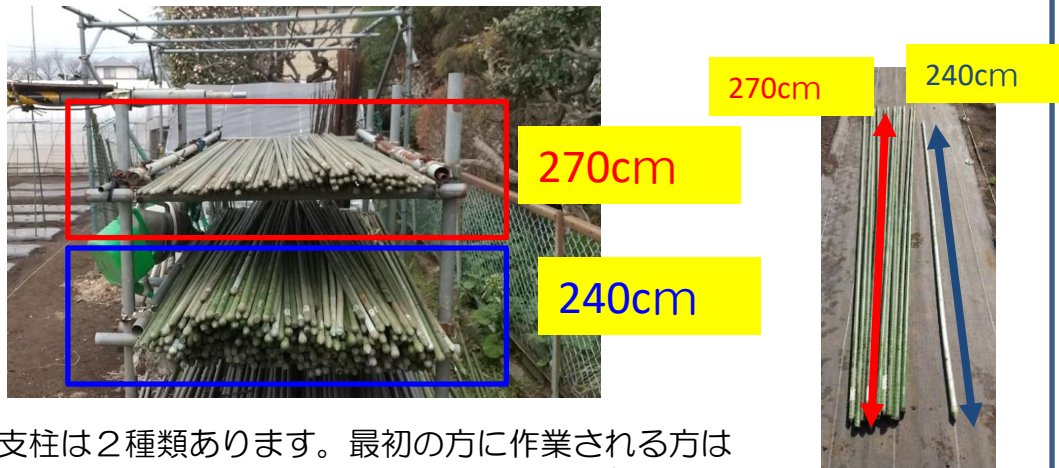
①-2 ビニール紐準備

60~80cmの紐を14本準備する



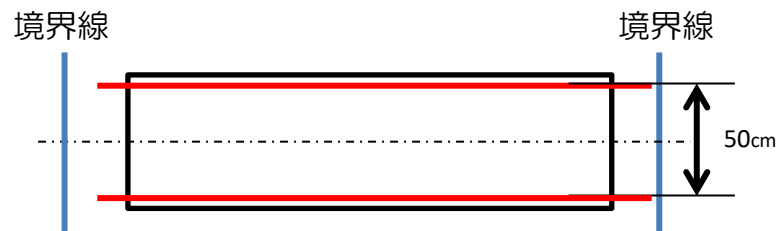
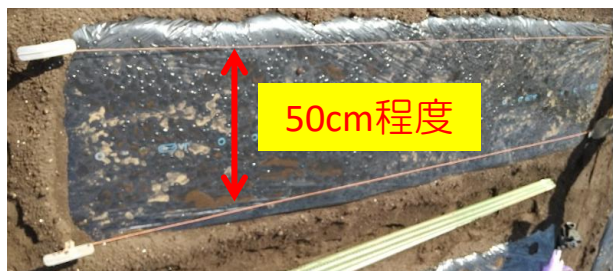
腕1巻分でおおよそ80cmです

①-3 支柱準備(横棒1本、縦棒12本、計13本)



※支柱は2種類あります。最初の方に作業される方は270cm12本、240cm1本をお持ちください。270cmがなくなった時点で、縦棒も240cmを使用ください

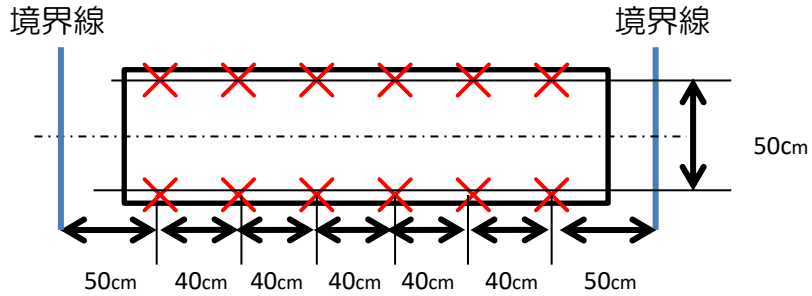
② マルチ引きで使用した間縄を2本張り、支柱を立てる幅位置を決める



※幅の寸法はマルチの幅ぎりぎりか少し内側になる位置にします

体験農園(小牧園)講習会 トマト支柱たて作業要領

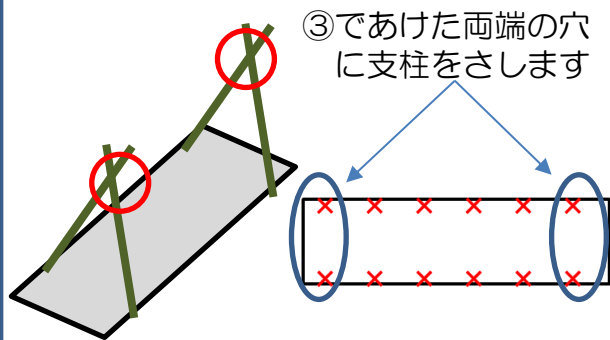
③支柱を立てる箇所(×位置)を採寸し、縄上に指などでマルチに穴をあける



※本来の植付は50cm間隔ですが、トマト類の植付本数を増やすため、本農園では40cm間隔としています。



④両端の支柱(縦棒)を、交差させた状態で穴にさし込み、ビニール紐で**仮止め**する。



③であけた両端の穴に支柱をさします



概ね頭の上位の高さで交差させる

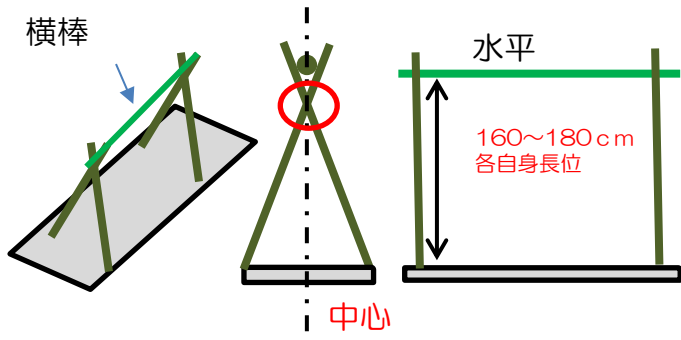
交差させた状態で地面に差し込む



※本作業で支柱を強引に曲げないように注意すること

体験農園(小牧園)講習会 トマト支柱たて作業要領

⑤上方に支柱(横棒: : 240cm)をのせ、マルチ中心位置、水平位置を調整し、ビニール紐を本締めする。
高さは作業者の身長が目安です。あまり高いと収穫時に手が届かなくなります。



3本まとめてビニール紐で本締めする

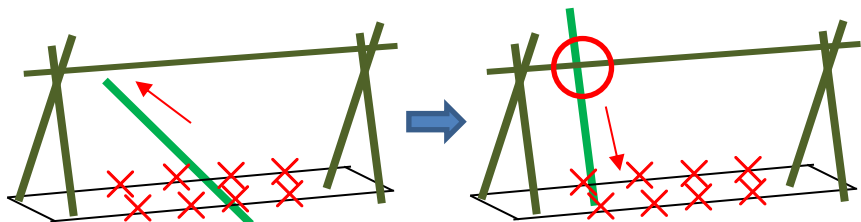


両端は60~80の紐を2本繋げ
しっかり固定するようにします



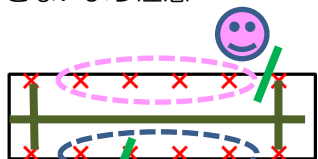
体験農園(小牧園)講習会 トマト支柱たて作業要領

⑥残りの支柱を立て、ビニール紐で本締めする

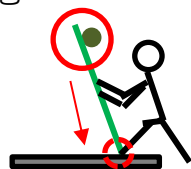


支柱を横棒の下から通す
※前後のマルチに棒を刺さないよう注意

上の支柱に沿わせながら穴に差し込む



差し込み側の方に立つと
効率よく作業できます



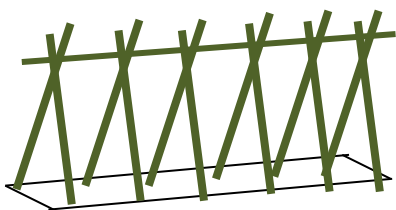
足で支柱を支えながら差し込むと、支柱を曲げずに、効率よく立てられます



ポイント②
横棒に添わせて
差し込む

ポイント①
縦棒を横棒の
下から通す

ポイント③
足先で支柱を抑える



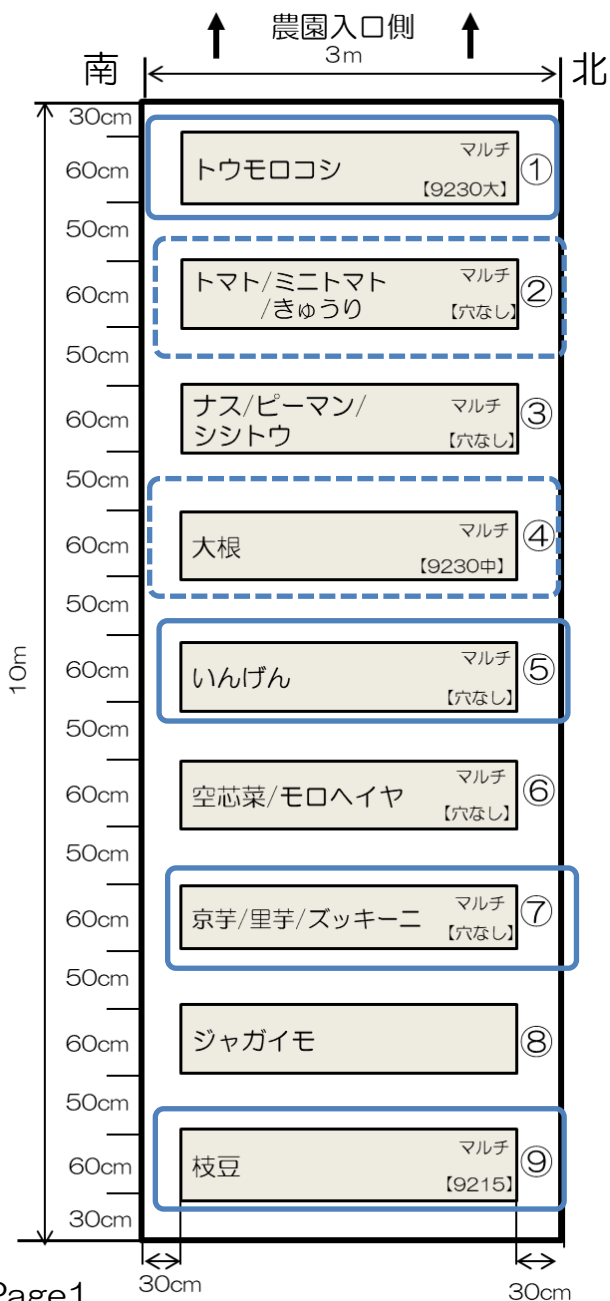
残りの支柱も同様の手順
で穴に差し込みます



全ての支柱を立てた後
3本まとめてビニール紐
で本締めします

手で支柱をゆらし、全体が一律に
動くことを確認する。問題なけれ
ば、使った道具を片付ける

注：詳細は講習当日の指示に従ってください



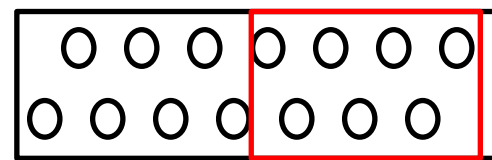
□大根 撒いて10日以上経過し、
かつ1穴2か所以上発芽しない所はまき直してください
※気温が低いため、発芽までに多少時間かかります

□トウモロコシの種まき(①列目)
・種まき 1穴2粒 (半分/北側)

マルチ穴



種を1か所に固まらないよう、
ばらして撒きます

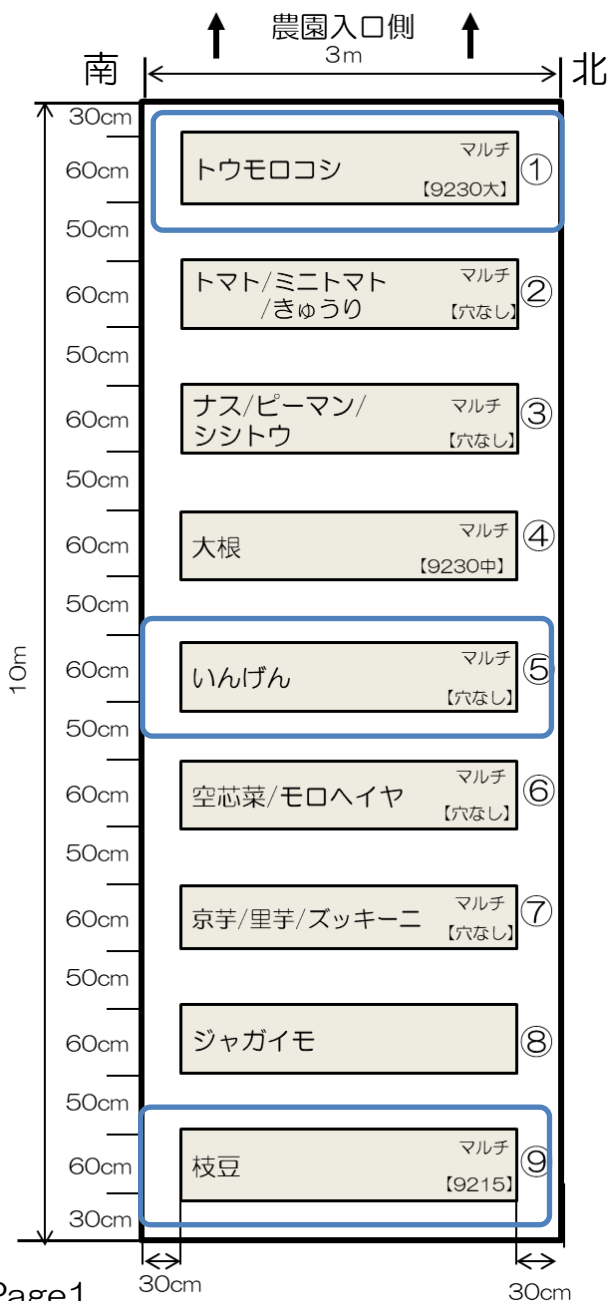


注：穴数は参考です。 → 北

□枝豆のマルチ引き(⑨列目) →春のマルチ引き資料参照
□いんげんのマルチ引き(⑤列目) →春のマルチ引き資料参照
・本講習会までに完了させてください

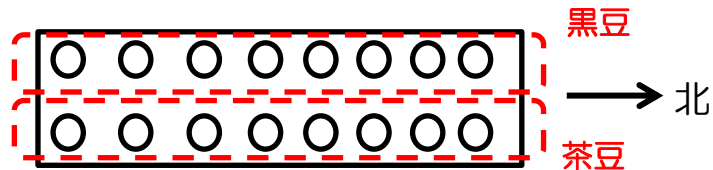
□トマト支柱立て(②列目) →マルチがひき終わり余裕ある方
継続の方：順次開始してください
指導を希望される方は講習時間帯に来てください
新規入園者：講習時間帯に指導します

注：詳細は講習当日の指示に従ってください

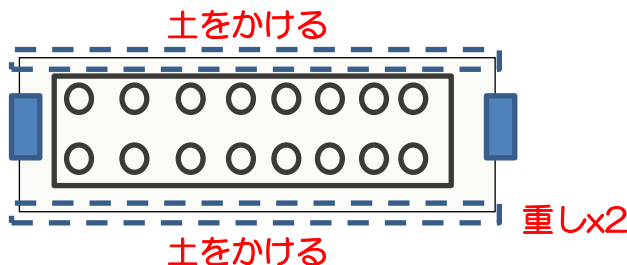


□枝豆の種まき(⑨列目)

- ・種まき**1穴2粒**
(深さ1.5cm程度)



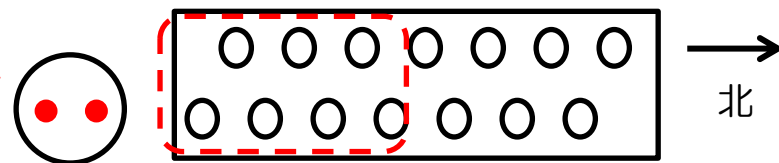
種まき後、鳥避けのためパオパオ(不織布)をかぶせます
その後、円筒の重しを前後に置き、両端は土をかぶせます



パオパオは各自のコンテナ内にあります。
重しは各区画2個としてください

□トウモロコシの種まき

- (①列目)
- ・種まき**1穴2粒**

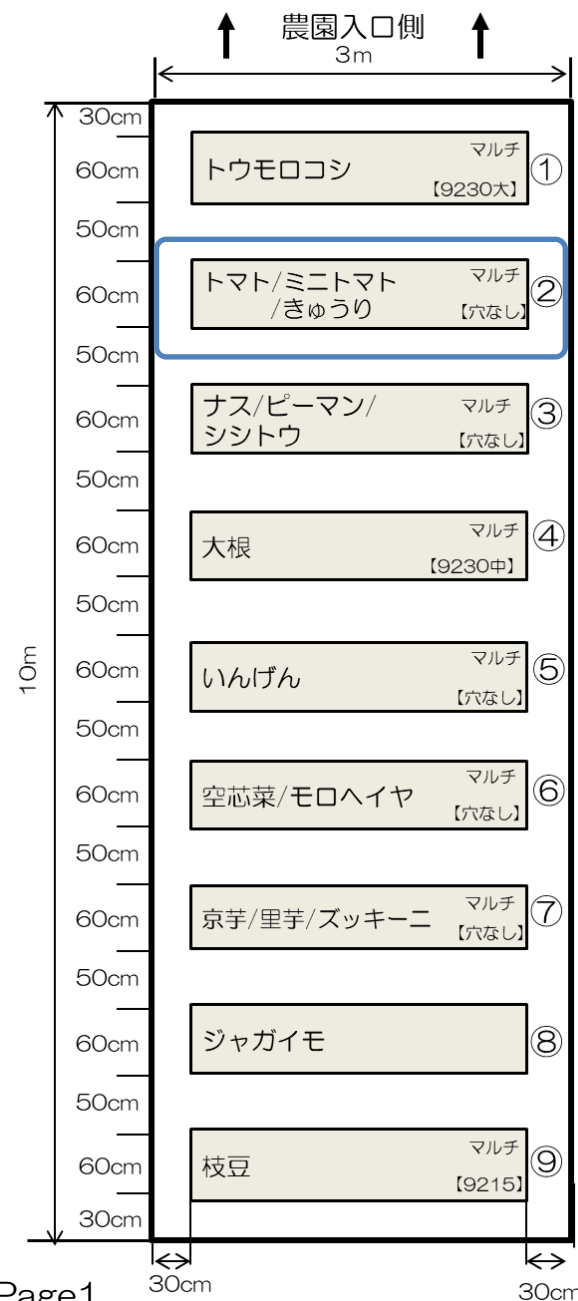


□いんげんの種まき(⑤列目)

- ・マルチに穴をあける
- ・種まき(7か所、**1穴3粒**)
- ※モロッコ/いんげん
の割り振りは自由とします

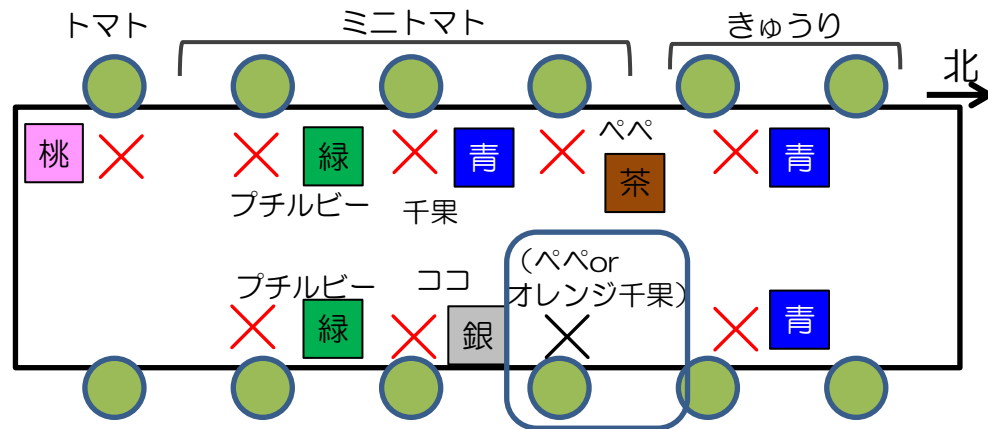


注：詳細は講習当日の指示に従ってください



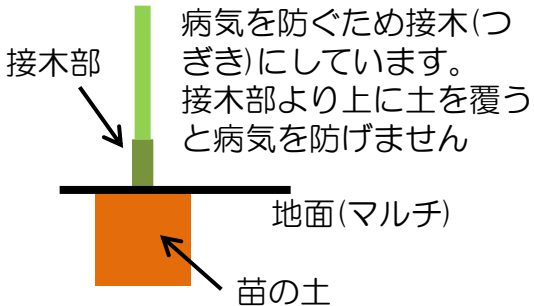
□トマト/ミニトマトの植付②列目

支柱から10cmほど離れた場所に植えます。(赤「×」の箇所)
花は通路側に向けてください。支柱に直接誘引ください
位置を間違えないでください



トマト/キュウリ/ナス共通

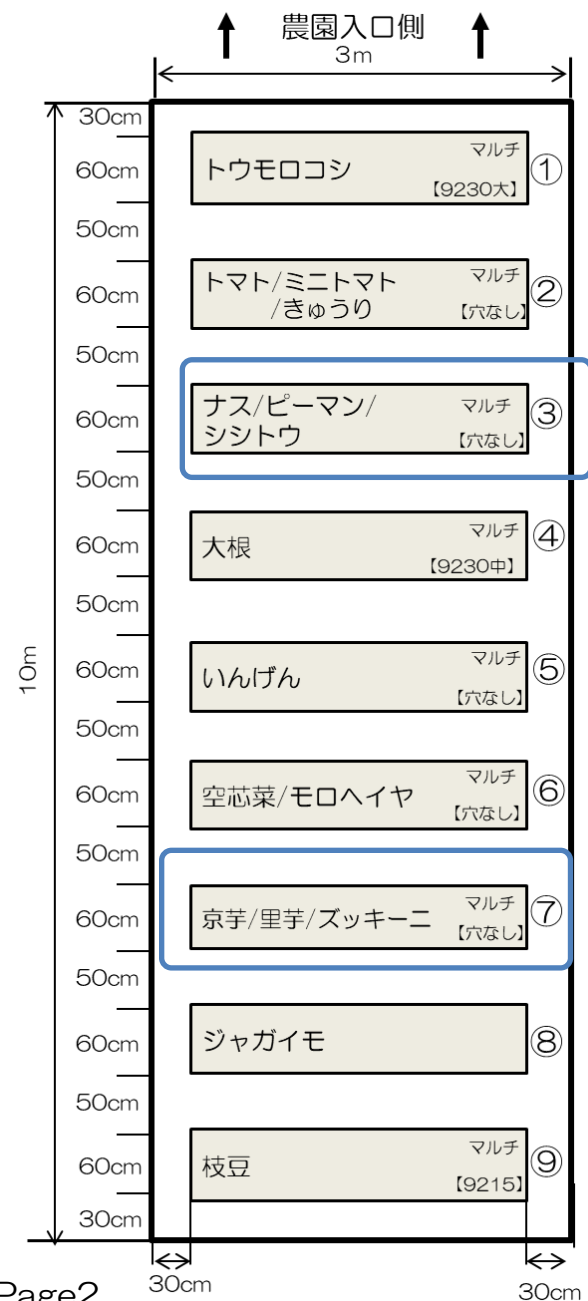
接ぎ木の苗は深く植えず、
苗の土の部分と地面(マルチ)が
同じ高さになるようにしてください



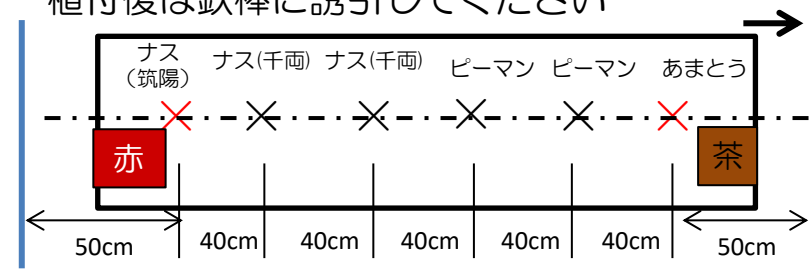
オレンジ千果は3月頭の寒さで枯れてしまい、半分しか準備できなかったため、抽選とします

- ・オレンジ千果を希望される方
→抽選用紙に記入ください
当選した方は次週植えます
- ・赤いトマトでよい方
→本日ペペを植えてください

注：詳細は講習当日の指示に従ってください



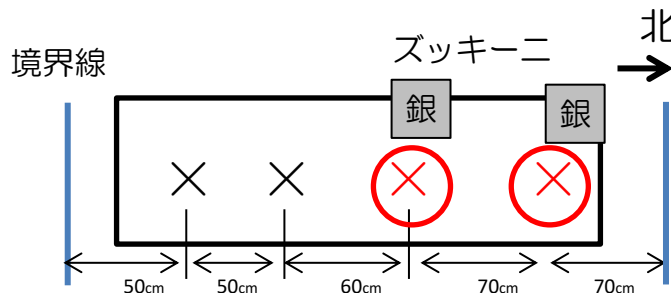
□ナス/ししとうの植付 (③列目) 赤「×」の箇所に植付
植付後は鉄棒に誘引してください



※ナスは接ぎ木です

□ズッキーニ (⑦列目)

・穴なしマルチに以下の寸法で穴を空け、苗を植える



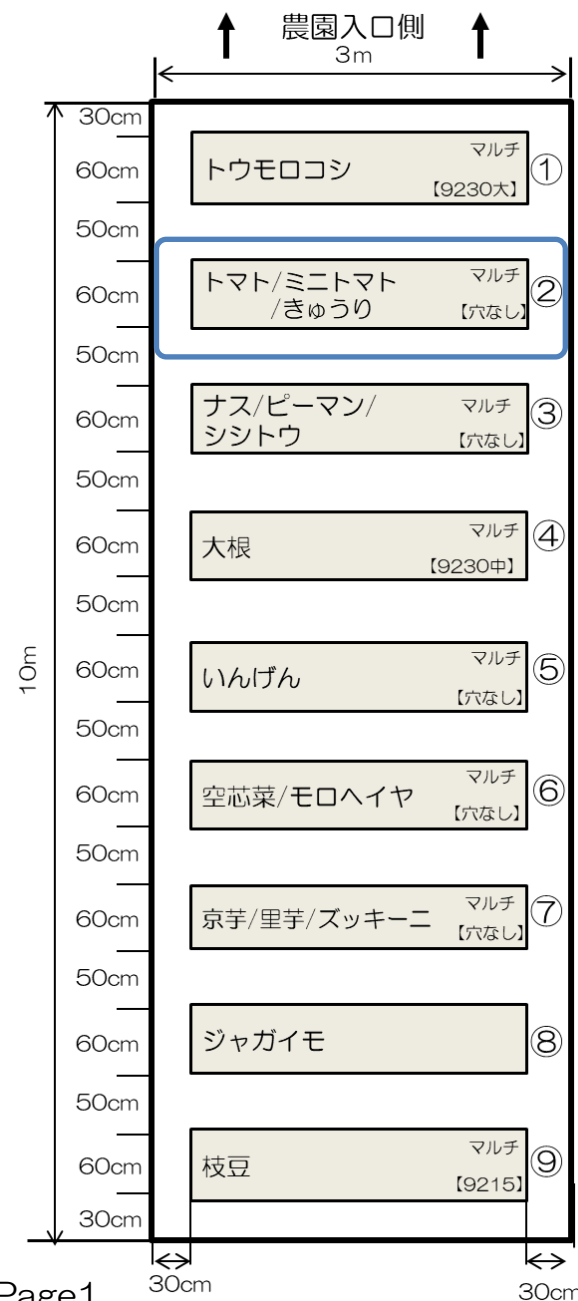
【種まき直し】

枝豆/トウモロコシ(1回目)

発芽していない箇所はまき直してください。

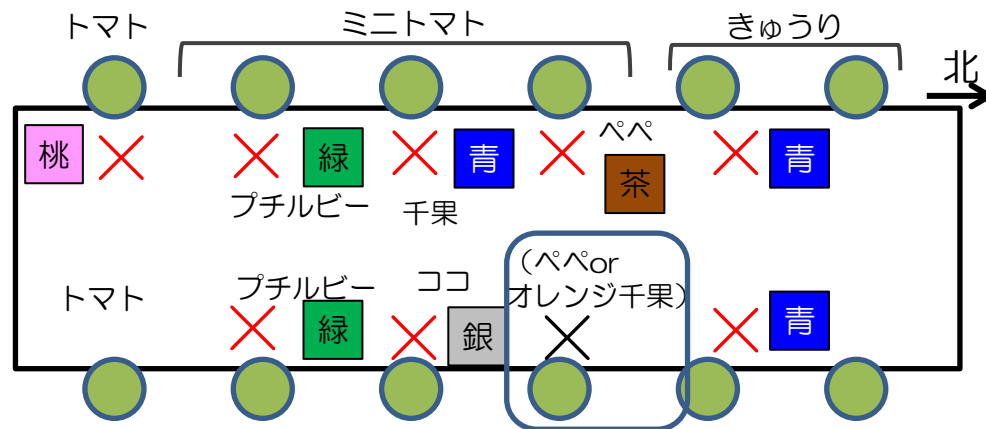
※トウモロコシ(2回目)、インゲンはもう1週お待ちください

注：詳細は講習当日の指示に従ってください



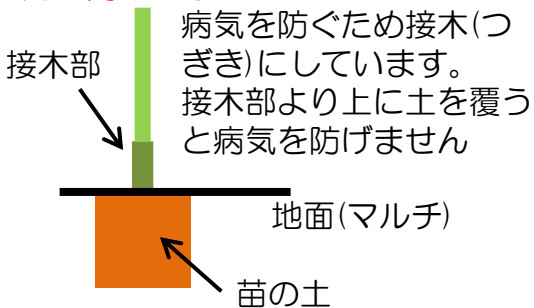
□ミニトマトの植付②列目

支柱から10cmほど離れた場所に植えます。(赤「×」の箇所)
花は通路側に向けてください。支柱に直接誘引ください
位置を間違えないでください



トマト/キュウリ/ナス共通

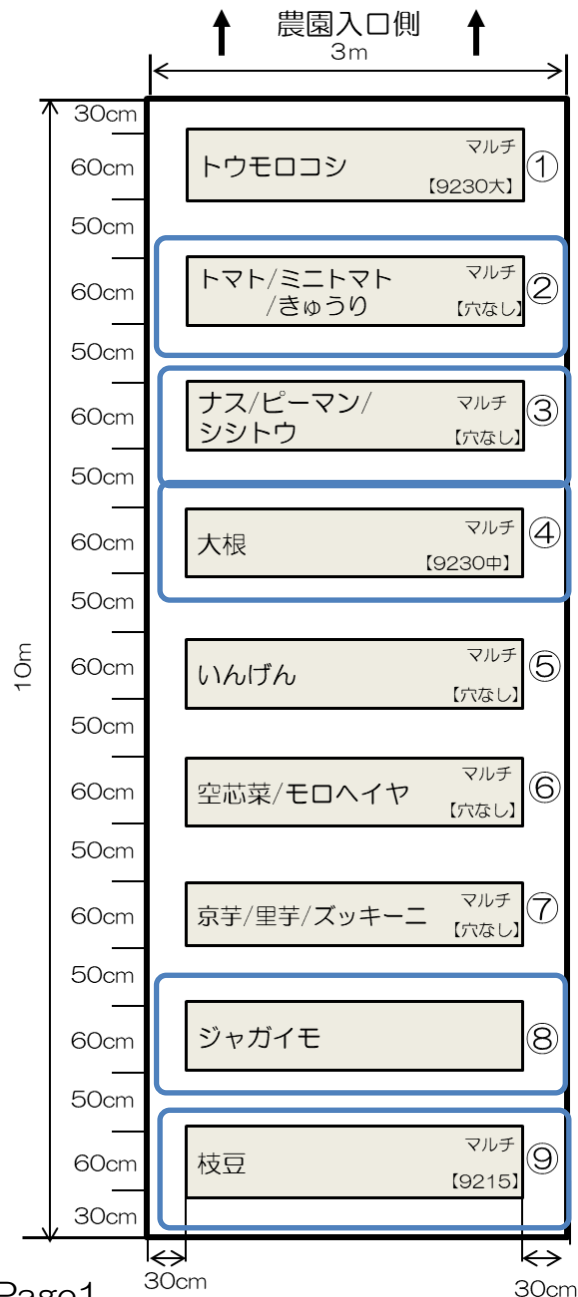
接ぎ木の苗は深く植えず、
苗の土の部分と地面(マルチ)が
同じ高さになるようにしてください



オレンジ千果は3月頭の寒さで枯れてしまい、半分しか準備できなかったため、抽選とします

- ・オレンジ千果を希望される方
→抽選用紙に記入ください
当選した方は次週植えます
- ・赤いトマトでよい方
→本日ペペを植えてください

注：詳細は講習当日の指示に従ってください



□全般

- ・来園時は必ず水やりを行ってください(特にナス/きゅうり)
- ・トマト/きゅうりの誘引
→成長した分を都度誘引してください

□枝豆

- ・鳥よけのパオパオ(不織布)をはがしてください。
はがしたパオパオは**帰宅時に自分のボックス内に収納ください**
→例年、乾かすためトマト支柱に巻きつけて帰宅される方がおられますが
風で近隣の住宅に飛んでしまう危険があるためおやめください
- ・置き石は元の場所に戻してください

□ジャガイモ追肥&土寄せ

- ・野菜名人1/2杯をジャガイモ周辺に撒いたのち
草かき等で土を根本に寄せてください。
土寄せは成長に合わせて2週間に1回位行います。
じゃがいもの追肥は今回のみです。

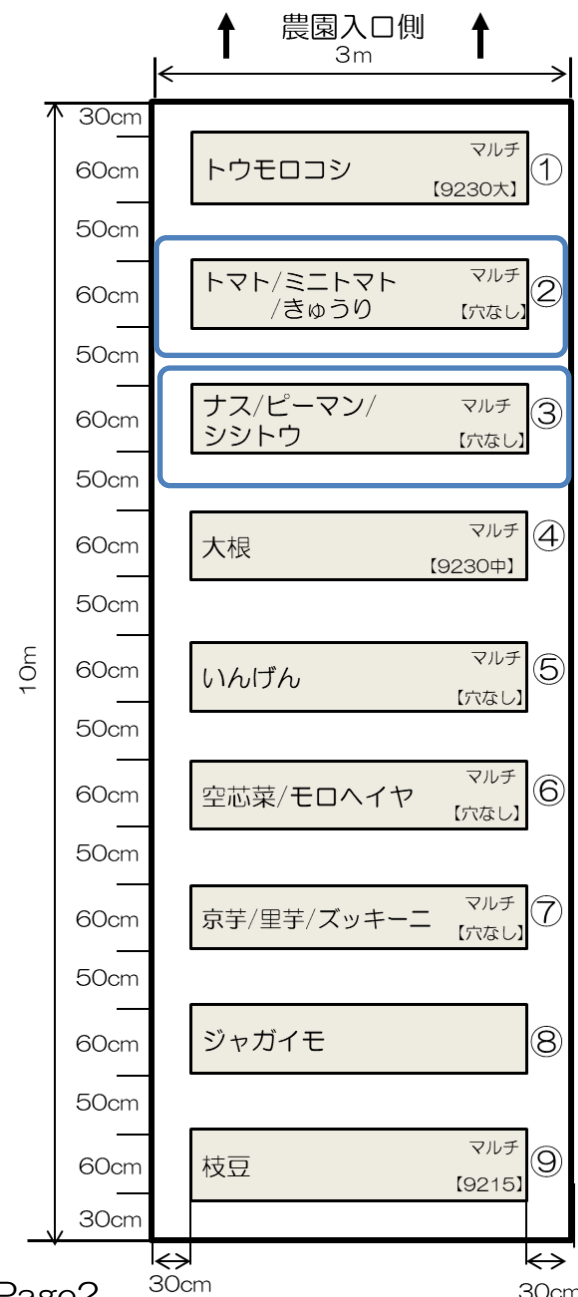
□大根間引き

- ・成育に合わせて4本→2本→1本と間引きを行います
今回は4本→2本の間引きを行ってください
間引いた大根は食べられるのでお持ち帰りください

□追加種まき

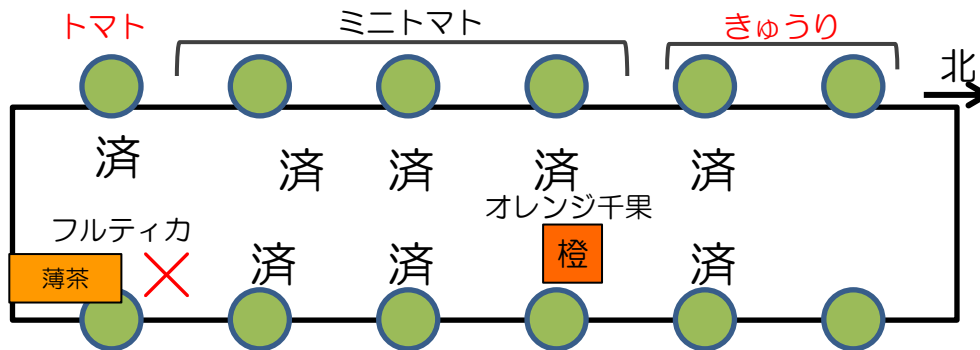
- ・発芽していないところはまき直しを行ってください

注：詳細は講習当日の指示に従ってください

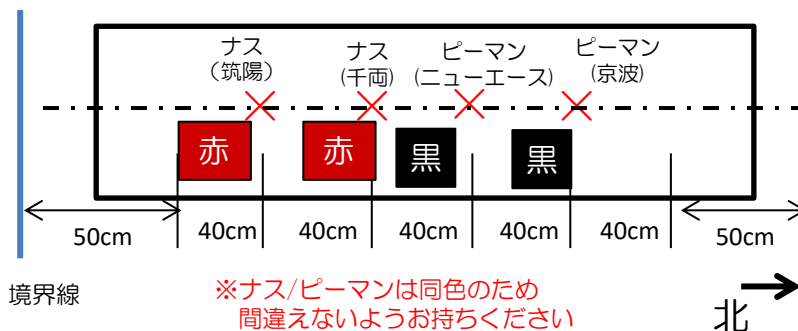


□中玉トマトの植付(②列目)

支柱から10cmほど離れた場所に植えます。(赤「×」の箇所)
花は通路側に向けてください。
フルティカは鉄の棒に誘引ください



□ナス/ししとうの植付 (③列目) 赤「×」の箇所に植付

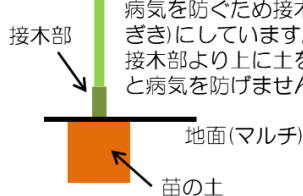


※ナス/ピーマンは同色のため
間違えないようお持ちください

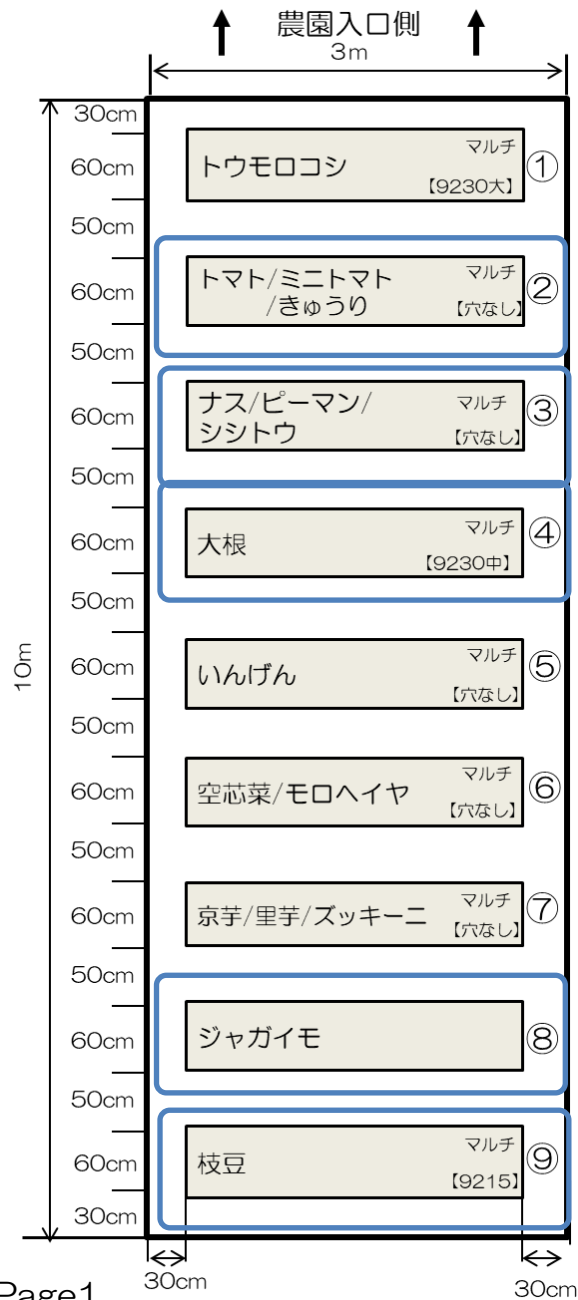
トマト/キュウリ/ナス共通

接ぎ木の苗は深く植えず、
苗の土の部分と地面(マルチ)が同じ
高さになるようにしてください

病気を防ぐため接木(つぎき)にしています。
接木部より上に土を覆う
と病気を防げません



注：詳細は講習当日の指示に従ってください



□全般

- ・来園時は必ず水やりを行ってください(特にナス/きゅうり)
- ・トマト/きゅうりの誘引
→成長した分を都度誘引してください

□枝豆

- ・鳥よけのパオパオ(不織布)をはがしてください。
はがしたパオパオは**帰宅時に自分のボックス内に収納ください**
→例年、乾かすためトマト支柱に巻きつけて帰宅される方がおられますが
風で近隣の住宅に飛んでしまう危険があるためおやめください
- ・置き石は元の場所に戻してください

□ジャガイモ追肥&土寄せ

- ・野菜名人1/2杯をジャガイモ周辺に撒いたのち
草かき等で土を根本に寄せてください。
土寄せは成長に合わせて2週間に1回位行います。
じゃがいもの追肥は今回のみです。

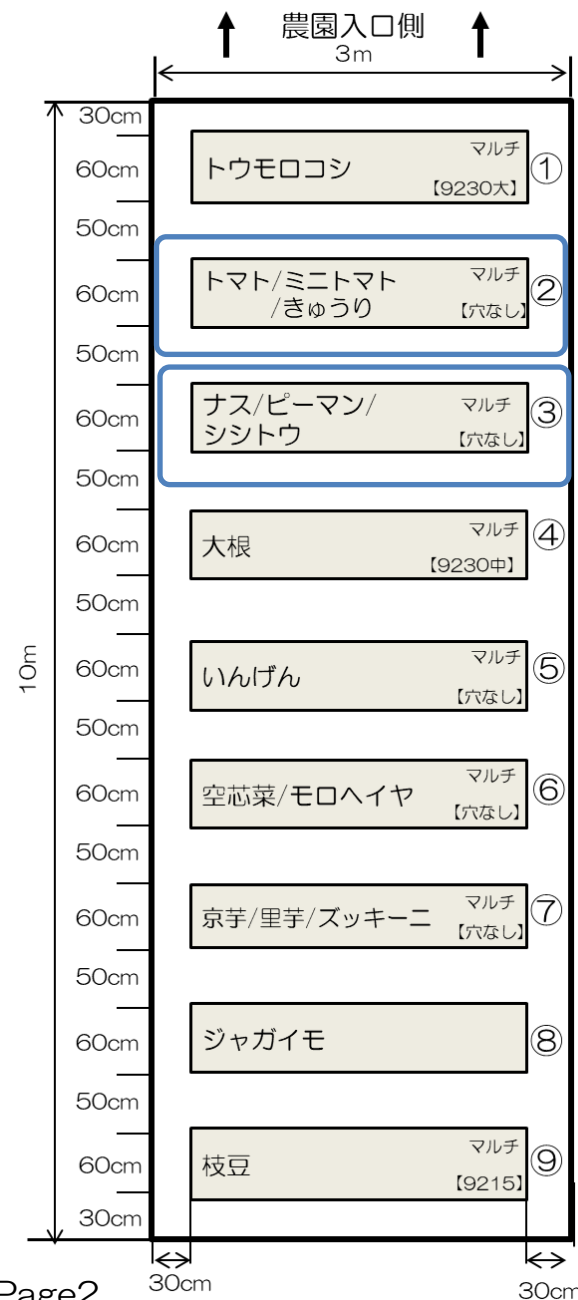
□大根間引き

- ・成育に合わせて4本→2本→1本と間引きを行います
今回は4本→2本の間引きを行ってください
間引いた大根は食べられるのでお持ち帰りください

□追加種まき

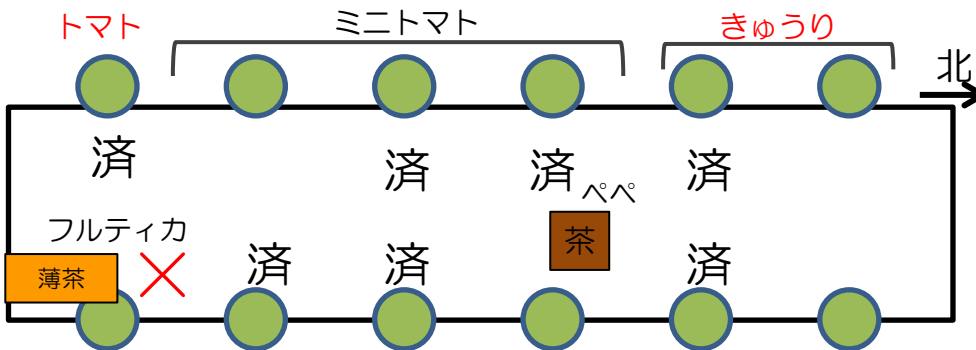
- ・発芽していないところはまき直しを行ってください

注：詳細は講習当日の指示に従ってください



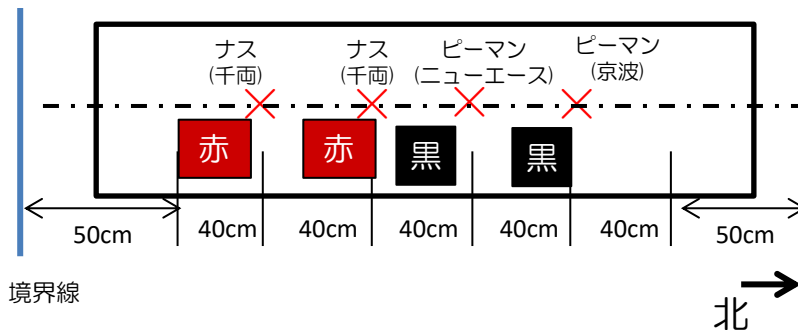
□中玉トマトの植付(②列目)

支柱から10cmほど離れた場所に植えます。(赤「×」の箇所)
 花は通路側に向けてください。
 フルティカは鉄の棒に誘引する



ペペが枯れていたなので、新しい苗も入れてます

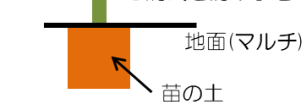
□ナス/ピーマンの植付 (③列目) 赤「×」の箇所に植付
 植えたら鉄の棒に誘引する



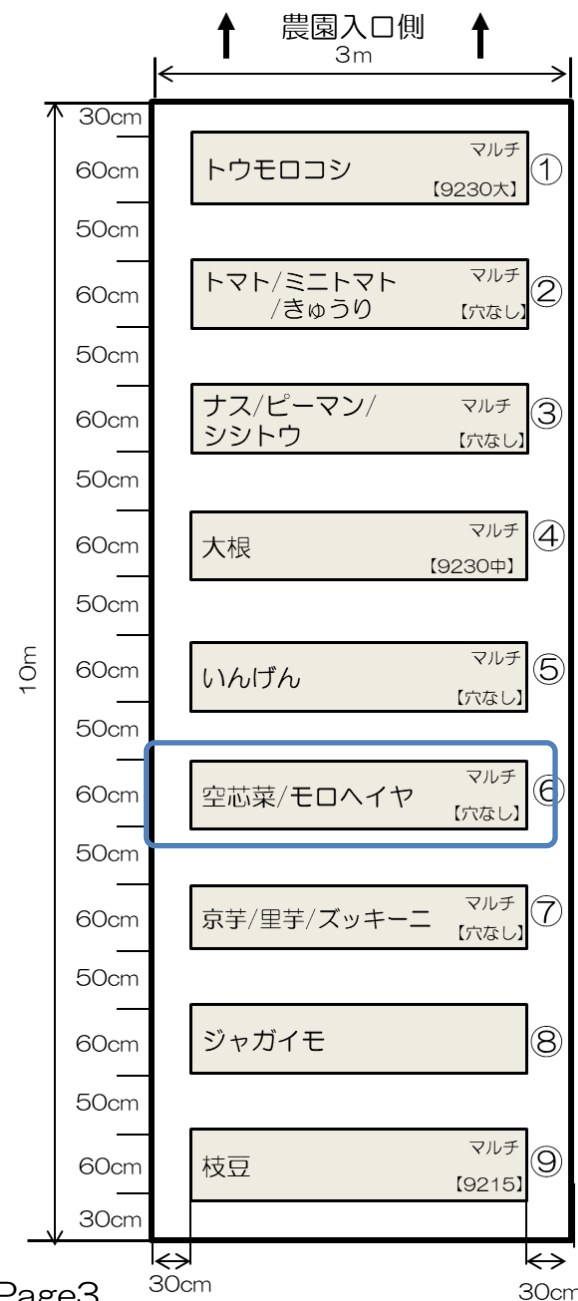
トマト/キュウリ/ナス共通

接ぎ木の苗は深く植えず、
 苗の土の部分と地面(マルチ)が同じ
 高さになるようにしてください

病気を防ぐため接木(つぎき)にしています。
 接木部より上に土を覆う
 と病気を防げません

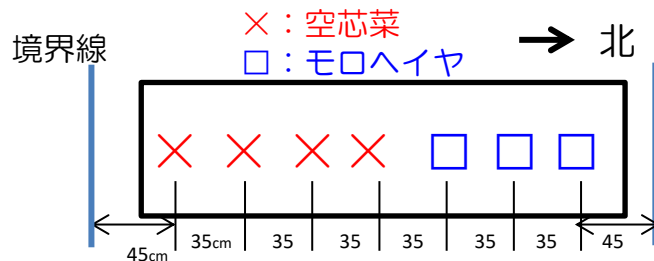


注：詳細は講習当日の指示に従ってください



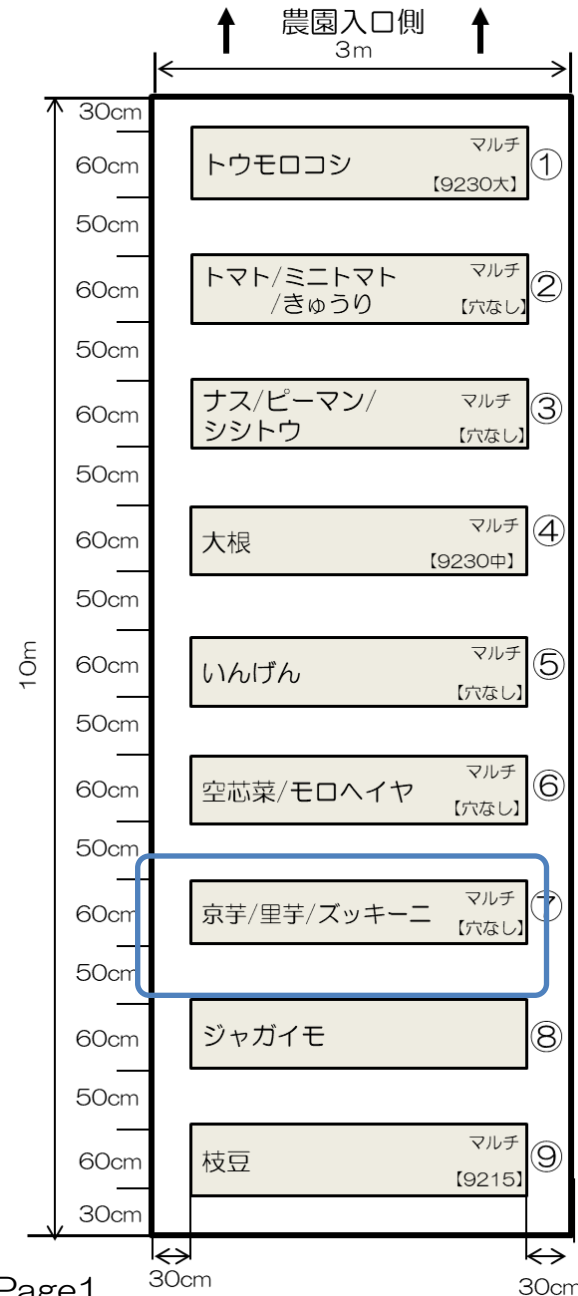
□空芯菜の植え付け(⑥列目)

- ・各区画、希望数定植する



空芯菜の希望数により
異なります

希望数4つ用意しています



資料の通り作業ください

□全般

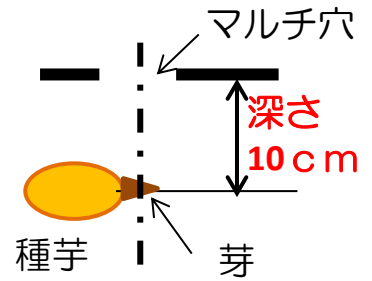
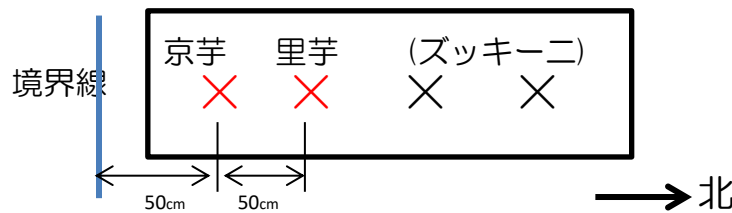
- ・来園時、除草/水やりをお願いします
- ・トマト/きゅうりの誘引
→成長した分を都度誘引してください
- ・トマトめかき
→心配な方/わからない方は5/11-12の講習会で指導します

□大根間引き

- ・連休中に1本にしてください
間引いた大根は食べられるのでお持ち帰りください

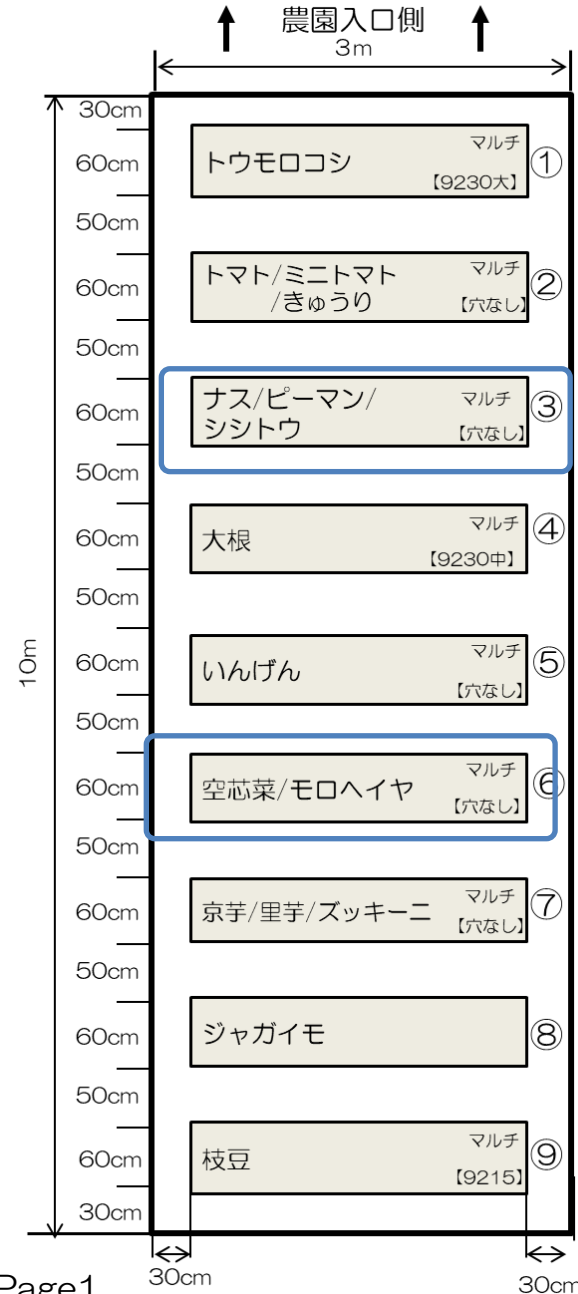
□京芋/里芋 (⑦列目)

- ・マルチに以下の寸法で穴を空ける
- ・京芋/里芋→種芋を右図のように植える



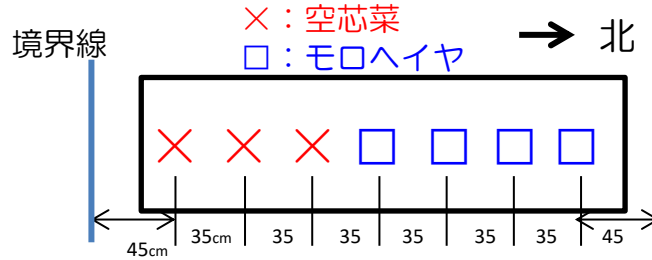
種芋を横向きにし、芽がマルチ穴の中心にくるように植える

注：詳細は講習当日の指示に従ってください



□モロヘイヤの植え付け(⑥列目)

- ・各区画、希望数定植する



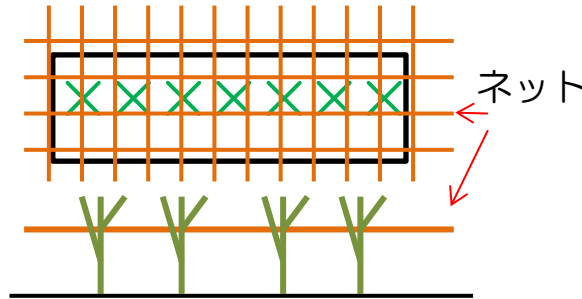
モロヘイヤの希望数により異なります

□ナス列ネットはり

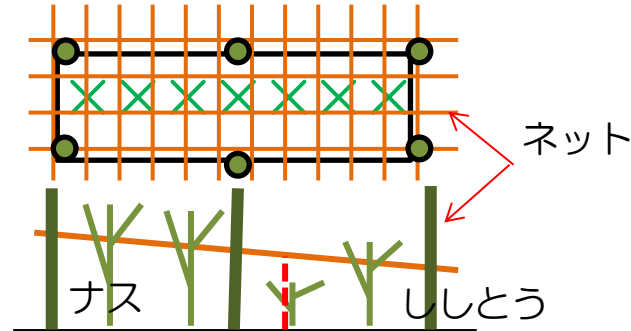
- ①支柱(74cm/6本)とネットを用意する。

※ネットは支給済です
※支柱本数は守ってください

- ②ネットをナス/ししとう/ピーマンの上に軽く掛ける



- ③支柱を6本立て、ネットを張る(ピンと張ると落ちてきません)

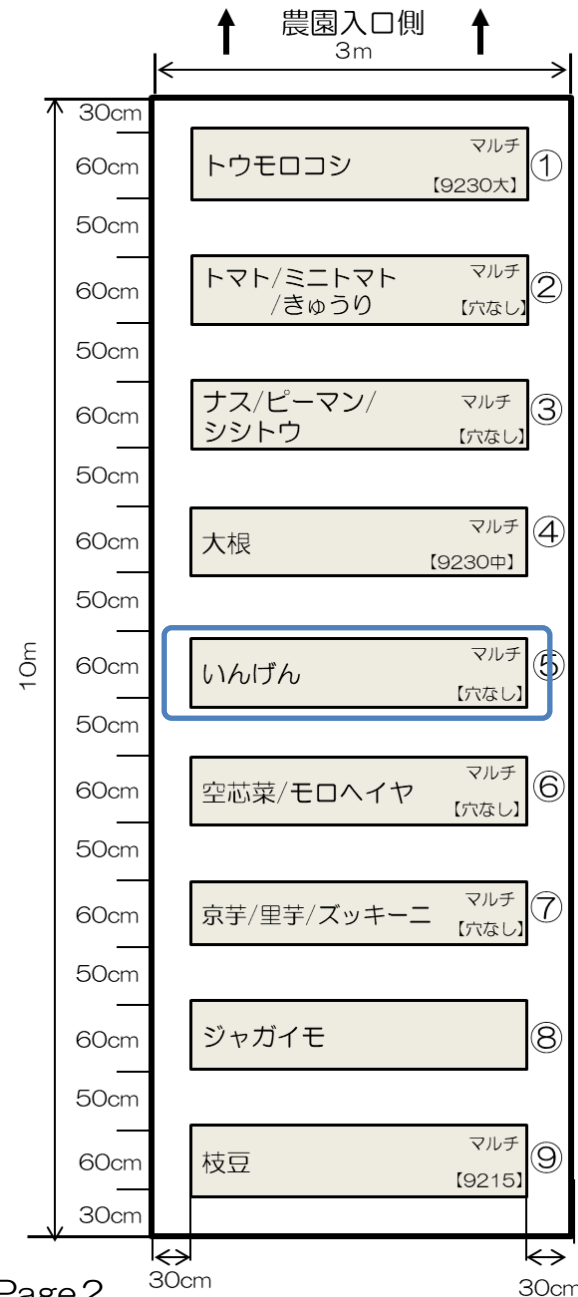


※小さい苗は鉄棒を併用ください

- ④成長に合わせてネット高さを調整する



注：詳細は講習当日の指示に従ってください

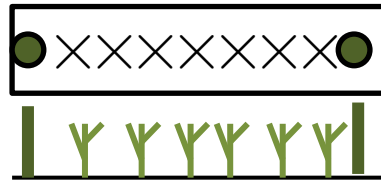


□いんげん支柱立て

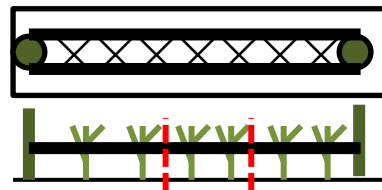
①支柱(74cm/2本)
黒ビニール紐を用意する
※紐は支給済み



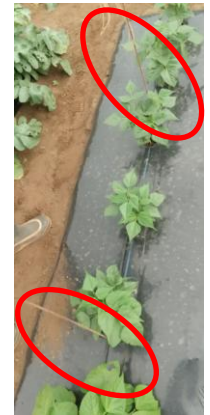
②マルチの両端に支柱を立てる



③一番小さい苗の高さに合わせ、
2本のビニール紐を両側から
挟むようにして支柱に縛る

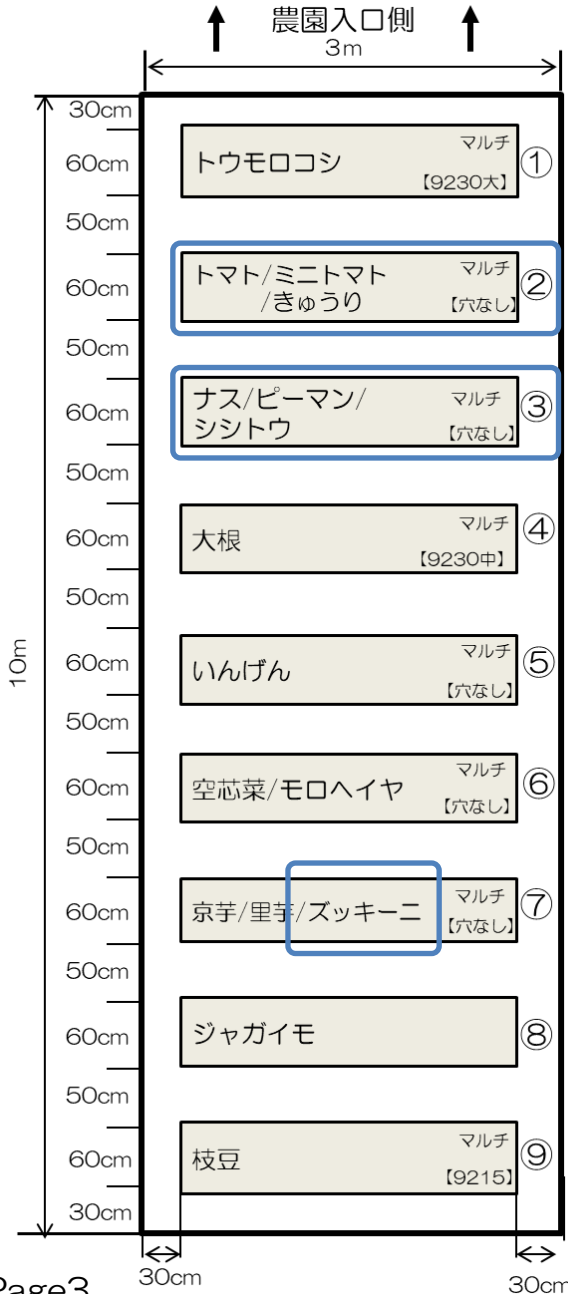


支柱2本だと
厳しい場合、
鉄棒を間に立
ててください
支柱は使わな
いください



④苗と苗の間を麻紐で縛る





以下作業は任意となります

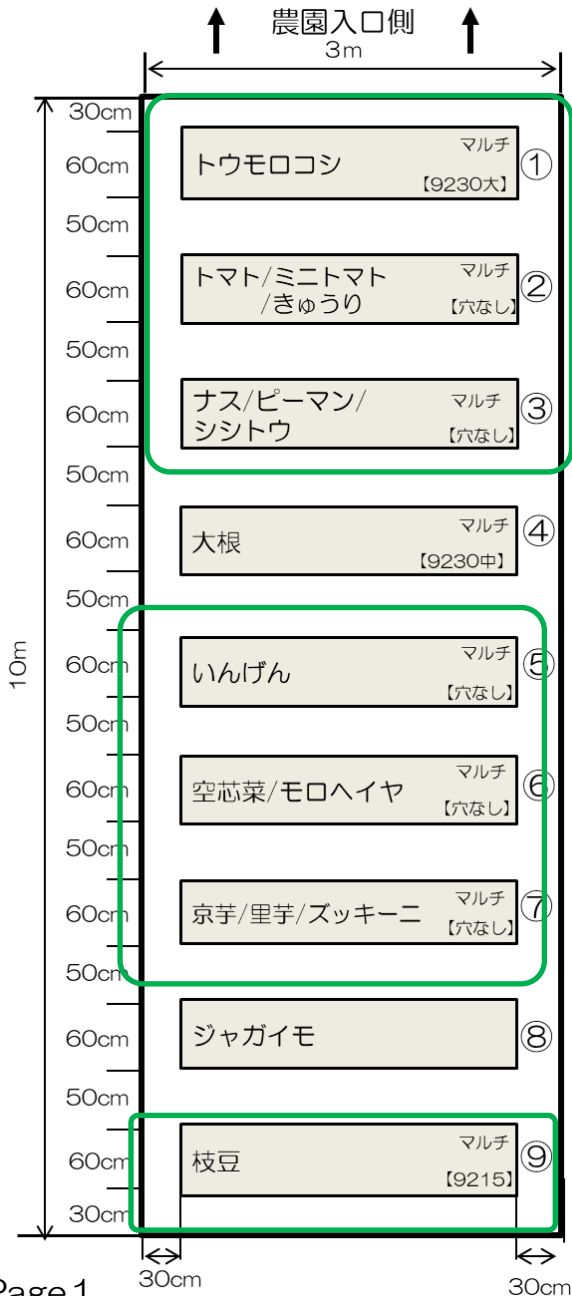
農薬を取り扱うため、農園関係者がいる場合のみ作業可能となります

ジェイエース(アブラムシ防除の農薬)散布

- アブラムシに対して自己耐性をつくる農薬です
- 粉状の農薬です。該当する作物(トマトきゅうり列、ナス列、ズッキーニ)の根元に一つまみずつ撒いてください
- 散布後は手をしっかり洗ってください
- 撒き終わったあとに水やりをお願いします

その他

- 即効性のあるアブラムシ防除の農薬も用意しています
ただし講習時間内かつ園主が立合の場合のみ作業可能となります
(平日等の講習時間外は)



□全般

- ・除草、水やり
- ・トマトめかき トマト/きゅうりの誘引
- ・ジャガイモの土寄せ

□収穫

- ・大根/きゅうり/ズッキーニ

各自のタイミングで行ってください

□追肥 追肥用肥料 **緑四角部** (大根/じゃがいも以外)

追肥用肥料を **1株1つまみ** 撒きます

ボールに入れ、余った肥料は元に戻してください

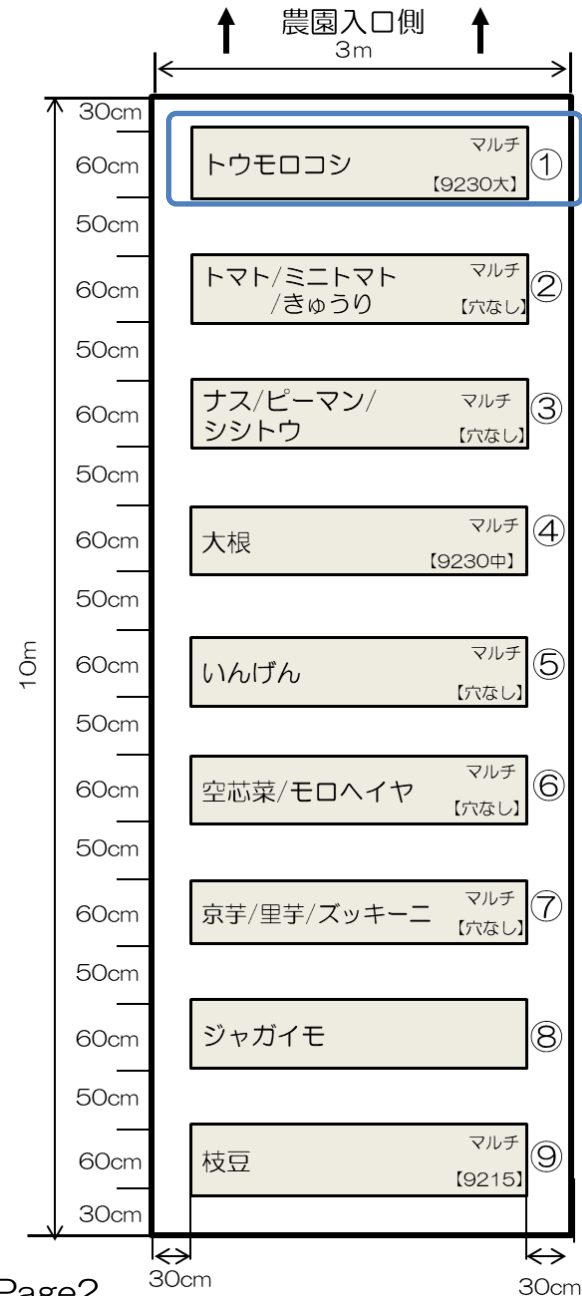
多すぎないように注意してください(肥料焼けします)。



根元に1つまみ
ずつ追肥します

「1つまみ」はこれくらいです

追肥肥料は常設します。月1ペースで各自施肥ください

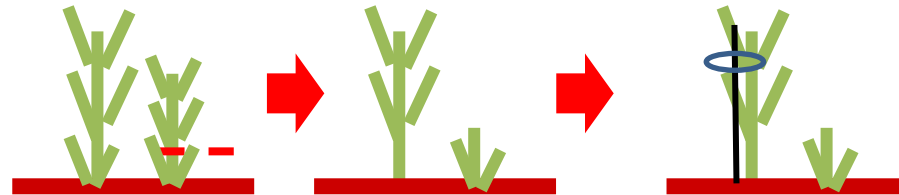


本作業は5/25以降の作業になります

□トウモロコシの間引き

2本以上出ているものを1本に間引きます
→抜かずにハサミで切るようにしてください

トウモロコシは高くなると風で倒れやすくなります
時間がある方は鉄棒に誘引するようにしてください



小さい方の根元を切ります
→残った方は補強になります

鉄棒に誘引し、風で
倒れにくいようにします

□トウモロコシ消毒 (5/25以降)

穂が出かかったものに対し、上方からデナポン粒剤を1~2つまみかけてください。詳しくはハウス内の掲示物を参照ください



各区画の成育に合わせて
行います

本資料をよく読み、間違い等ないようお願いします。
 道具・種は数がありません。他に作業者をがいる場合は、使ったら都度元に戻すなど、譲り合って作業されるようお願いします。

【人参種まき】

□人参(向陽二号)

①大根のマルチを剥がす

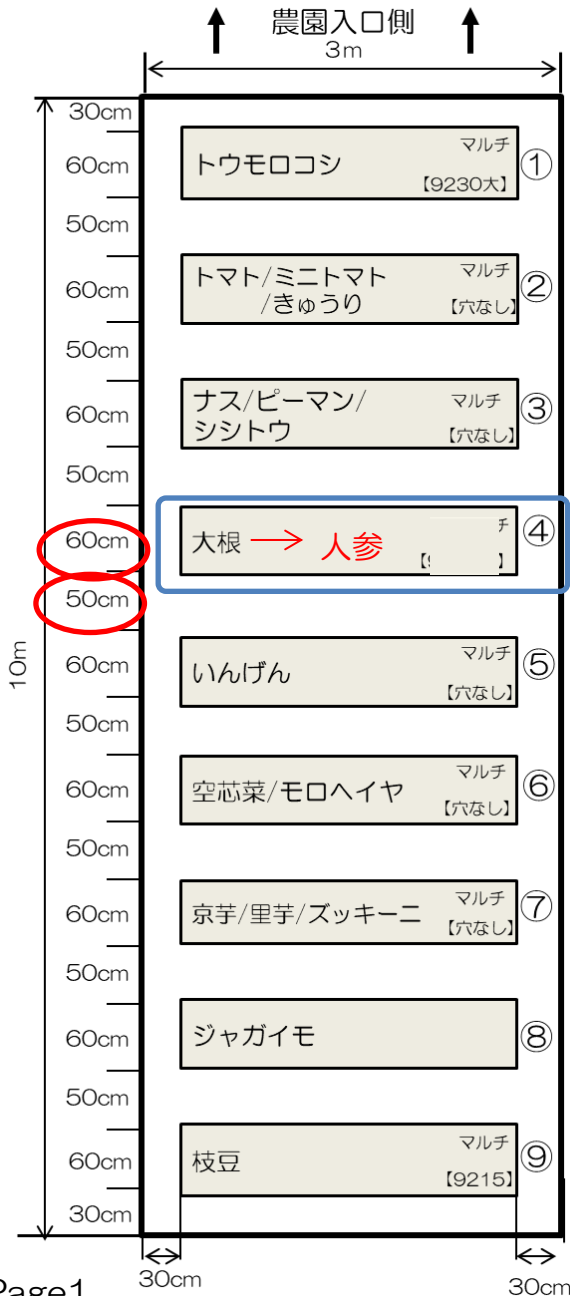
※スコップ等を使い、マルチの切れ端を残さないようにご注意ください
 ※剥がしたマルチはよく乾かしたのち丸くまとめて捨ててください。

②肥料類を準備し、肥料用バケツに入れ、よくかき混ぜる

- 化成8号/石灰/アズミン 各1杯
- ネマトリン(線虫予防薬) 150g (小分け袋に入ってます)
 ※ネマトリンの小分け袋は再利用しますのでお戻しください

③肥料類を撒き、クワなどでよく耕したのち、
 レーキ・プラパイプ等で平坦にする

④マルチ引き同様、2本の縄を張る(インゲンから50cm/幅60cm目安)



①



②



③



④



⑤人参筋作成用器具を持ってきます



当農園で自作した器具です(非売品)



6月中は農具置き場横に常設します。使用後は元の場所に戻してください

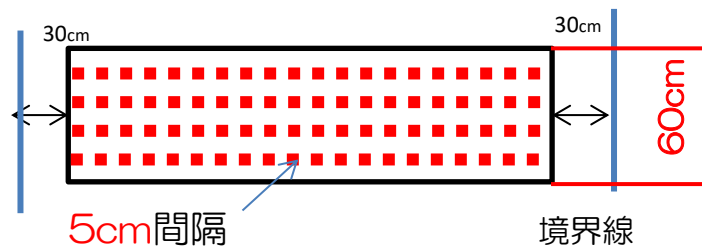
⑥以下の要領で筋を4本作ります



端部を縄に沿わせながら手前に引きます

器具を地面に押し付け4本の筋を作ります

⑦種をもってきて、筋に種をまく
向陽二号 約5cm間隔/一つぶん

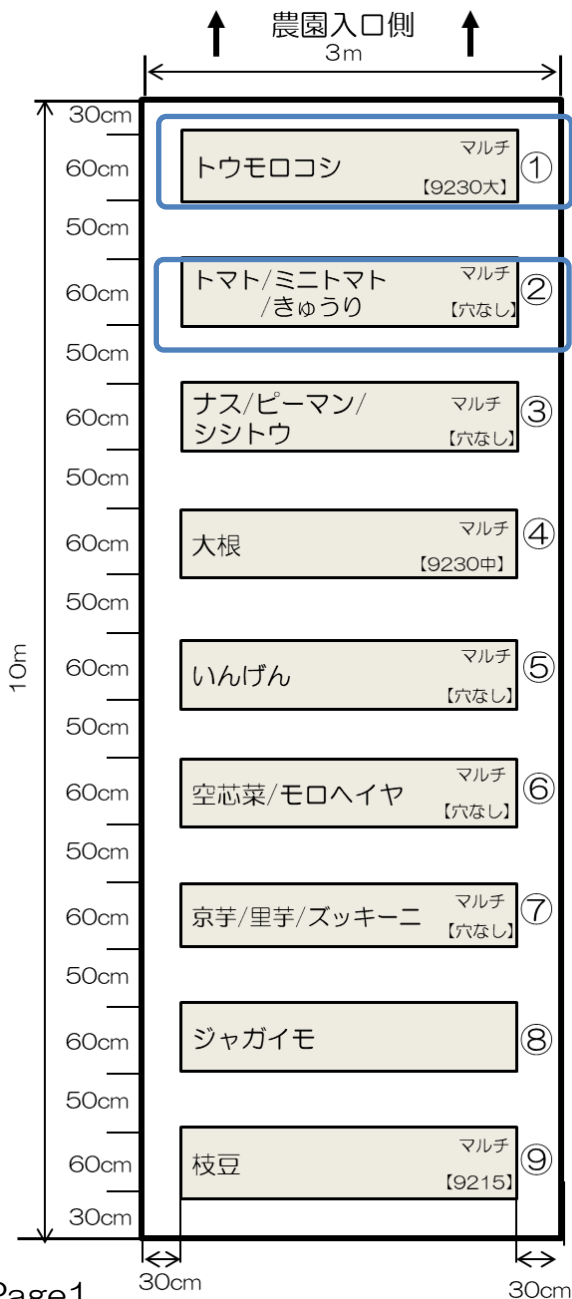


適正量はこれくらいです

⑧種まき後土をかぶせ、カットしたワラを表面に敷く

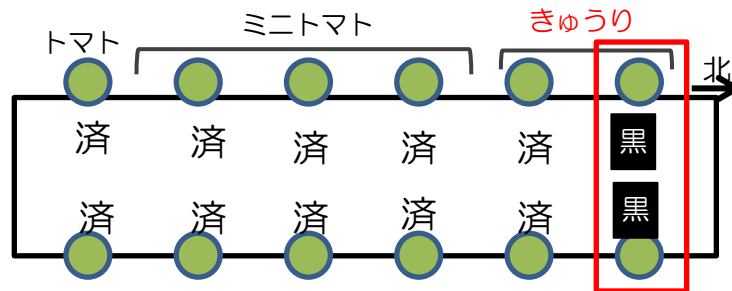
写真はありません
置き場所はハウス内に掲示します

作業終了後、水をしっかり撒いてください。また来園毎、必ず水撒きするようにしてください。



□きゅうりの植付

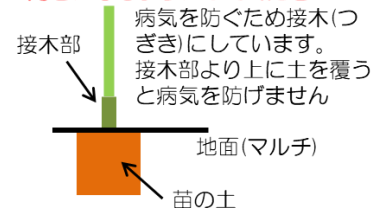
一番北側2か所植え付ける



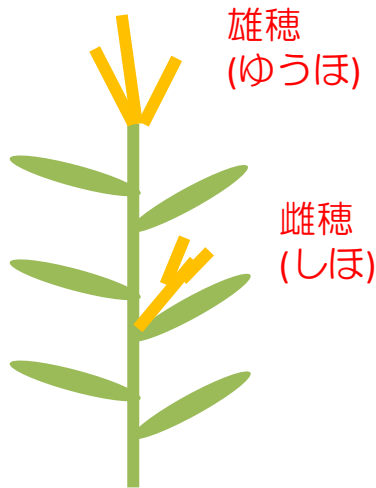
※ナスに誘引していた短い鉄棒を取り、きゅうりの誘引に使ってください

トマト/キュウリ/ナス共通

接ぎ木の苗は深く植えず、苗の土の部分と地面(マルチ)が同じ高さになるようにしてください



□トウモロコシ消毒



雌穂が出始めたら雌穂にデナポンを散布します(アワノメイガ防除)

雌穂が出た段階で雄穂を切り落とすとアワノメイガ防除さらに効果的です

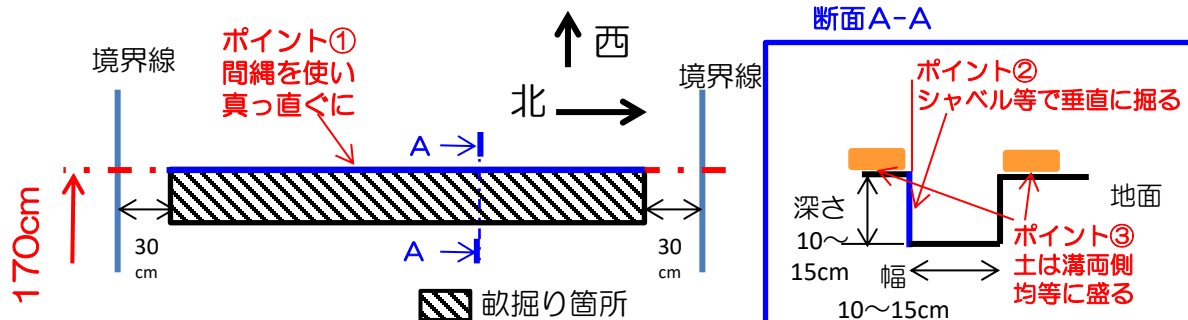
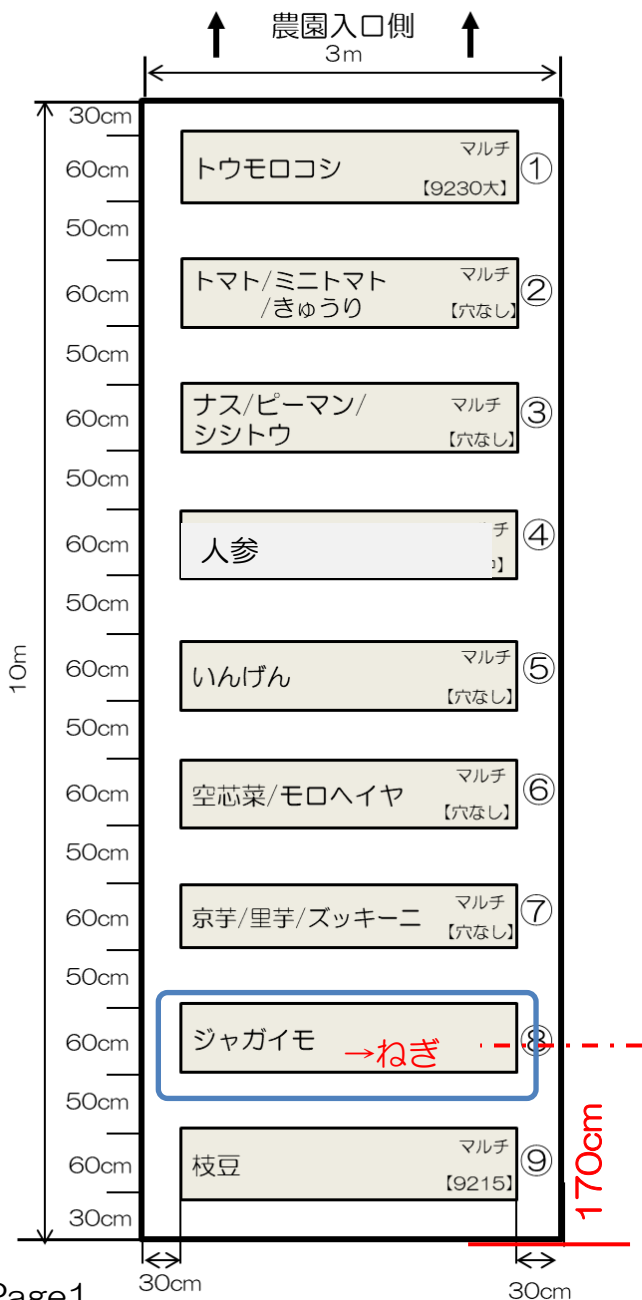
雌穂が1本に2本以上出ている場合、小さいうちに1本にすることを推奨します
※デナポン散布しているため、ヤングコーンとして食べるのはお勧めできません。

注：講習当日の指示に従って作業ください

今が春の最後の講習会です。以後管理・収穫期に入りますが、週に一度は来園くださるようお願いいたします。

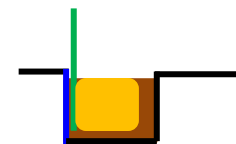
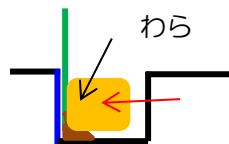
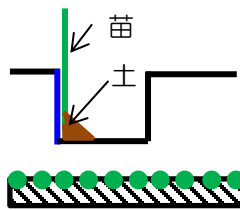
□ねぎ植付

- 石灰(カルメイト) → 2杯
 - 化成肥料(化成8号)、アズミン → 1杯
- 施肥後よく耕したのち平坦にしてください
- 畝掘り → 基準面(青線部)が曲がらないようにしてください
土は溝の両側に盛ってください(ポイント③参照)



・ 苗植え

- ① ねぎの苗を基準面につけ 根元に土をかけて固定する
- ② わらを畝に入れ、基準面 側に軽く押し付ける
- ③ わらが埋まらない程度 の深さで土をかける



注意① わらは4~5個です 間隔狭いと細くなります！

注意② 土をかけすぎると腐ります

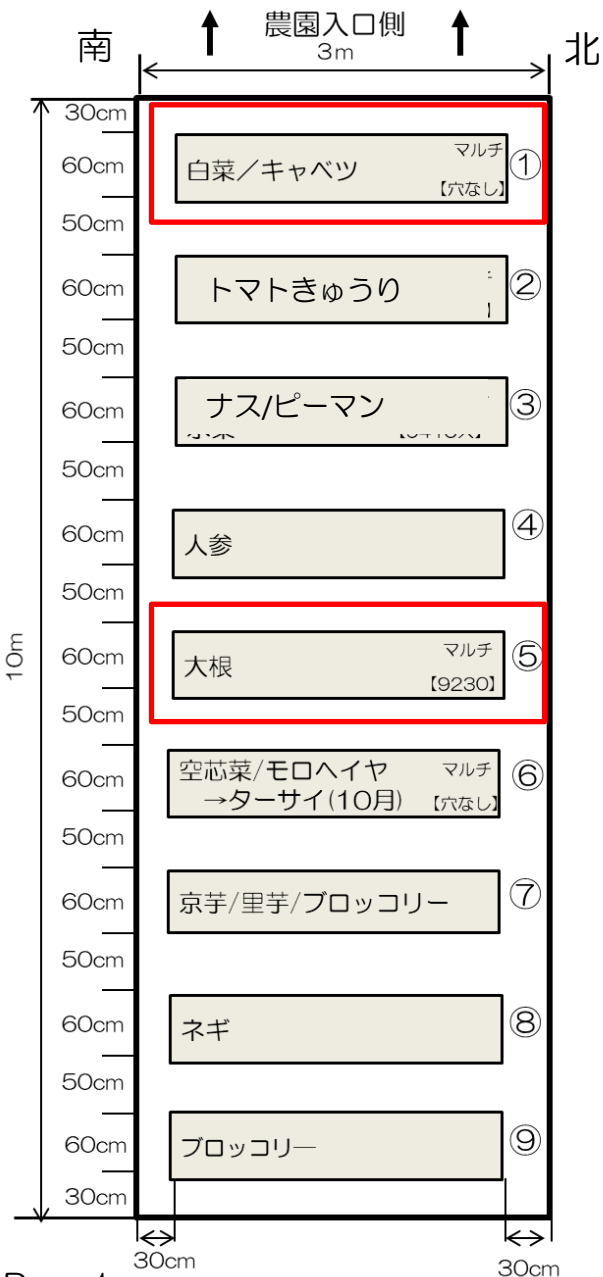
5cm間隔、畝全体に

「7月～8月の作業予定」

- ①収穫時期、消毒情報は、一斉メールにてお知らせします
- ②除草、収穫などは適宜行ってください
- ③マルチは当面の間、収穫が完了しても、指示があるまではがさないようにしてください。
→7月中旬～後半に片づけ用の資料をお配ります。
- ④トウモロコシ等で使用した誘引に使った鉄棒は、必ずもとの場所にお戻しください
→**生ごみと一緒に捨てられていると大けがの原因になるため非常に危険です**



列番	6月下旬の状態	7月～8月の作業	8月末時点の状態
①	収穫可	適宜収穫ください。収穫後の茎は捨て場所が指定されるまで、当面自区画に保管ください。鉄棒は収穫後すぐ撤収ください。	収穫完了 (7月中)
②	収穫可	適宜収穫して下さい	そのまま (9月上旬撤去)
③	収穫可	適宜収穫して下さい。	そのまま (9月下旬撤去)
④	種まき済	来園毎に水やりをお願いします。発芽しない箇所は追い撒きをお願いします。	そのまま (生育中)
⑤	収穫完了	適宜収穫ください。収穫後の枝は1週間程度自区画で乾かし、泥を落としてから捨ててください。	収穫完了 (7月中)
⑥	収穫可	9月末位まで収穫可能です。大きくなりすぎた場合は一旦適度な大きさに切りそろえリセットしてください。	そのまま (生育中)
⑦	植付済	サトイモ類は水やりをお願いします。ズッキーニは1週間程度自区画で乾かしてから撤収ください。	そのまま (生育中)
⑧	植付済	当面は作業ありません。水やり不要です	そのまま (生育中)
⑨	収穫可	適宜収穫ください。収穫後の枝は1週間程度自区画で乾かし、泥を落としてから捨ててください。	収穫完了 (7月中)



天候等の様子をみながら施ください

□白菜/キャベツの準備(①列目) 9/1位まで

- 野菜名人1杯、石灰1杯、アズミン1杯
- 施肥後よく耕す
- 穴無しマルチをひく(幅は60cm確保してください)

□大根の準備(⑤列目) 9/7位まで

- 化成8号1杯、石灰1杯、アズミン1杯
- 施肥後よく耕す
- マルチ9230をひく

マルチはよく乾かしてからしっかり泥を落とし、コンパクトにしてから捨ててください

使用済マルチ

乾燥させ、付着した泥をしっかりと落としたのち、ポット穴に入れる(泥を落とすと穴からはみ出ません)

はみ出なくなるまでしっかり泥を落とししてください(写真ははみだしの例です)



燃やせるゴミ

- マルチ切れ端
- スズランテープ
- 割りばし
- 麻ひも

どちらに捨ててもかまいません

理想な状態

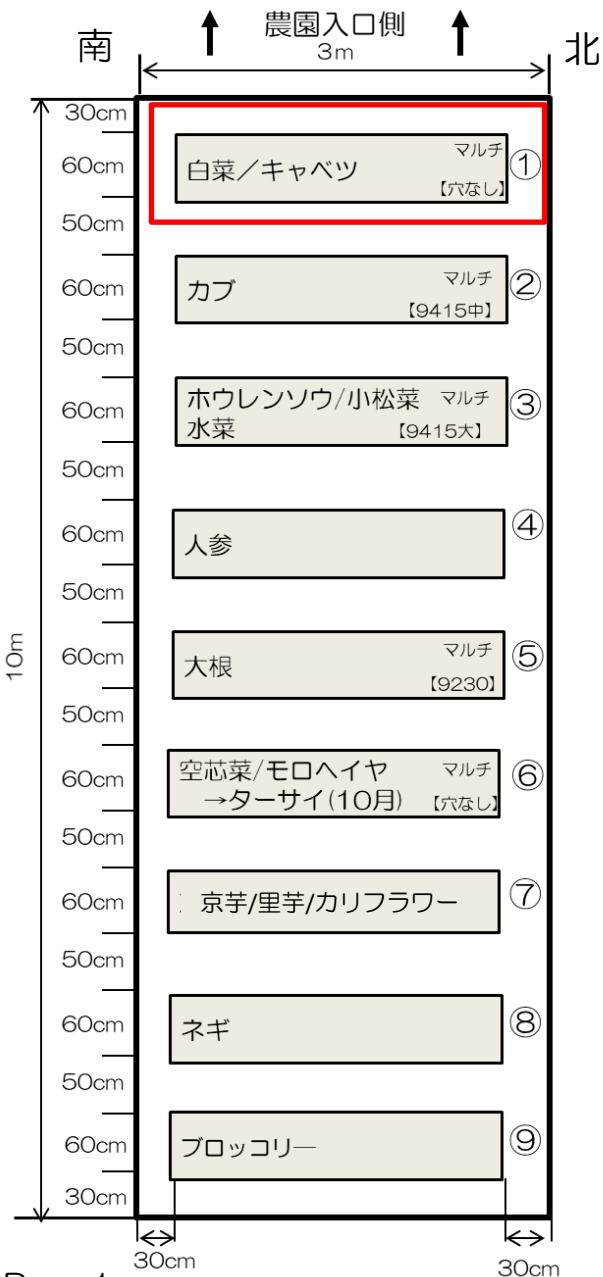
□その他

列②トマト類は9月上旬、列⑨ナス類は9月下旬を目安に撤収ください。9月中旬以降、カブ、葉物の種まきを行います。

- トマト支柱を片付ける場合、240cm→中段、270cm→上段にしまってください

ビニール紐は燃やせるゴミに捨ててください

⑥空芯菜/モロヘイヤのマルチはターサイでそのまま使用しますので捨てないでください



秋の苗定植時の注意事項

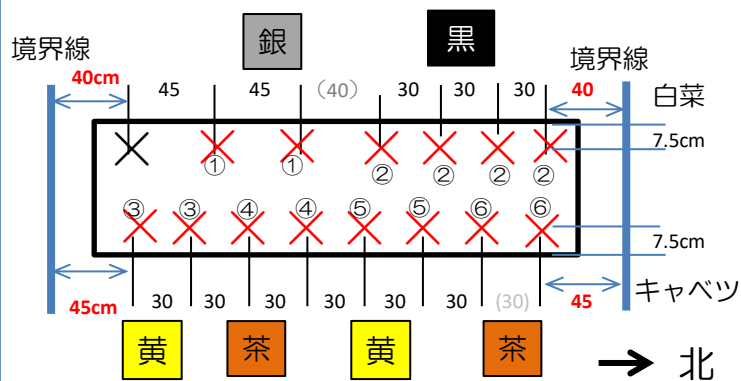
- 秋の作物の苗は**深植えします**
※夏のトマト/きゅうりの指示と異なるので注意
- ポット類は水で洗って返却ください



苗の種類が多いので、キャベツ列/ブロッコリー列同時に持ち出さないようにしてください

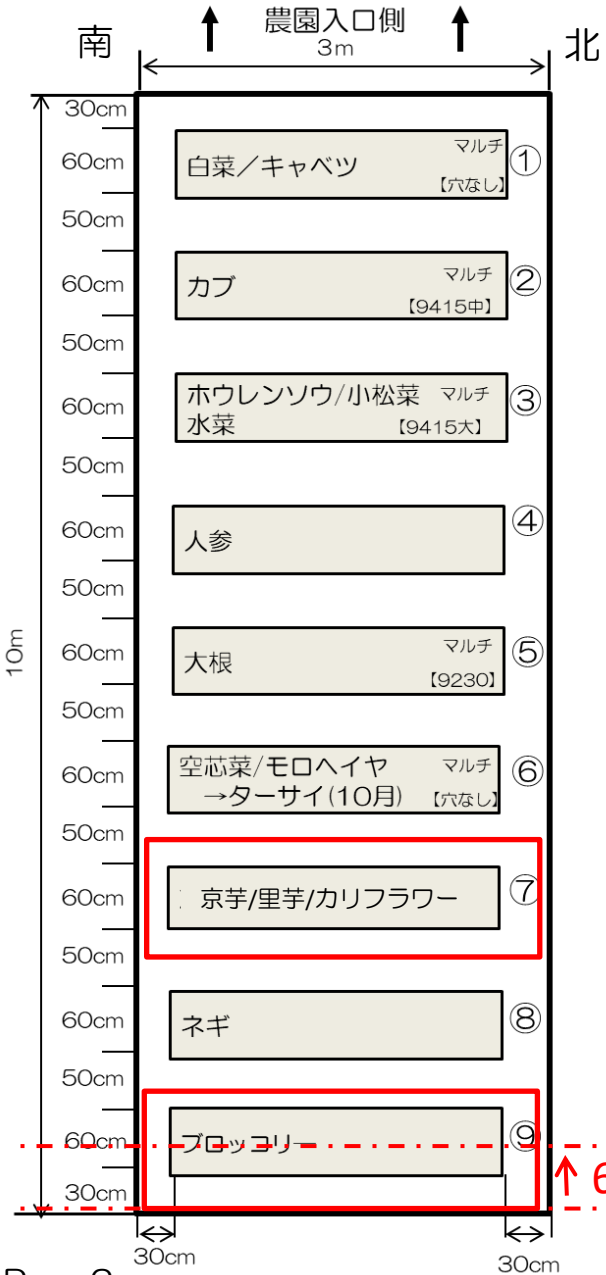
□白菜/キャベツの定植(①列目) 赤×部

- 施肥/マルチひき(野菜名人、石灰、アツミン 各1杯)
- マルチに穴をあけ、キャベツ/白菜を植え付ける
マルチ引きで使用する縄を使い、キャベツ列-白菜列の間隔を十分にとるようにしてください
- 植付後、根元に殺虫材(ダントツ)を撒き、水をかける

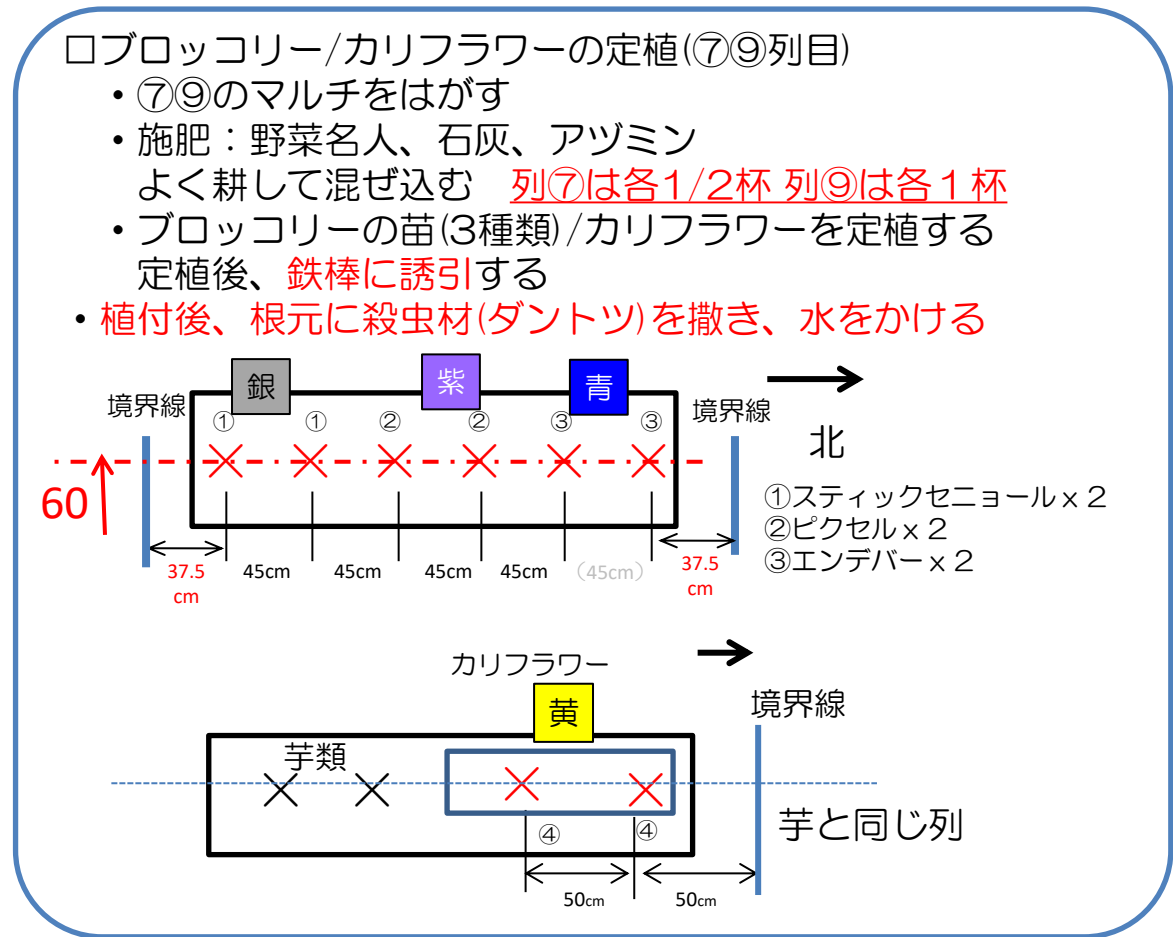


- 白菜列
 - ①オレンジクイン(銀)x2
 - ②ミニ白菜(黒)x4
- キャベツ列
 - ③コールラビ(黄)x2
 - ④金春(茶)x2
 - ⑤金系201(黄色)x2
 - ⑥彩風(茶)x2

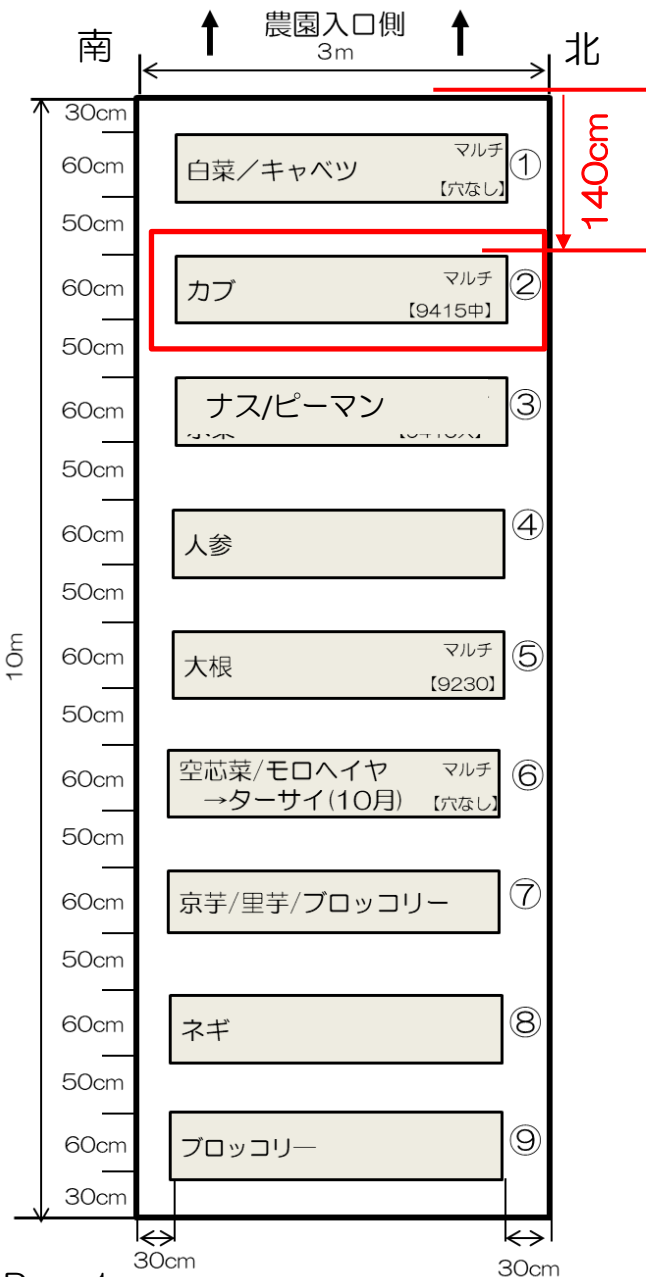
オレンジクインの残り1個は後日植えます、穴はあけておいてください
キャベツ列色が被ってしまいました
間違えないよう注意してお持ちください



苗の種類が多いので、キャベツ列/ブロッコリー列
同時に持ち出さないようにしてください



※大根は9月中旬以降、気温が落ち着いたら種を用意します
早めにマルチをひいてお待ちください
↑60 ※カブのマルチは次週用意します



□カブのマルチ引き(②列目) 9/16位まで

- 野菜名人1杯、石灰1杯、アズミン1杯
- 施肥後よく耕す
- マルチ9415中をひく
- トマト支柱を片付ける際、240cm→中段、270cm→上段にしまってください

マルチはよく乾かしてからしっかり泥を落とし、コンパクトにしてから捨ててください

使用済マルチ

乾燥させ、付着した泥をしっかりと落としたのち、ポット穴に入れる(泥を落とすと穴からはみ出ません)

燃やせるゴミ

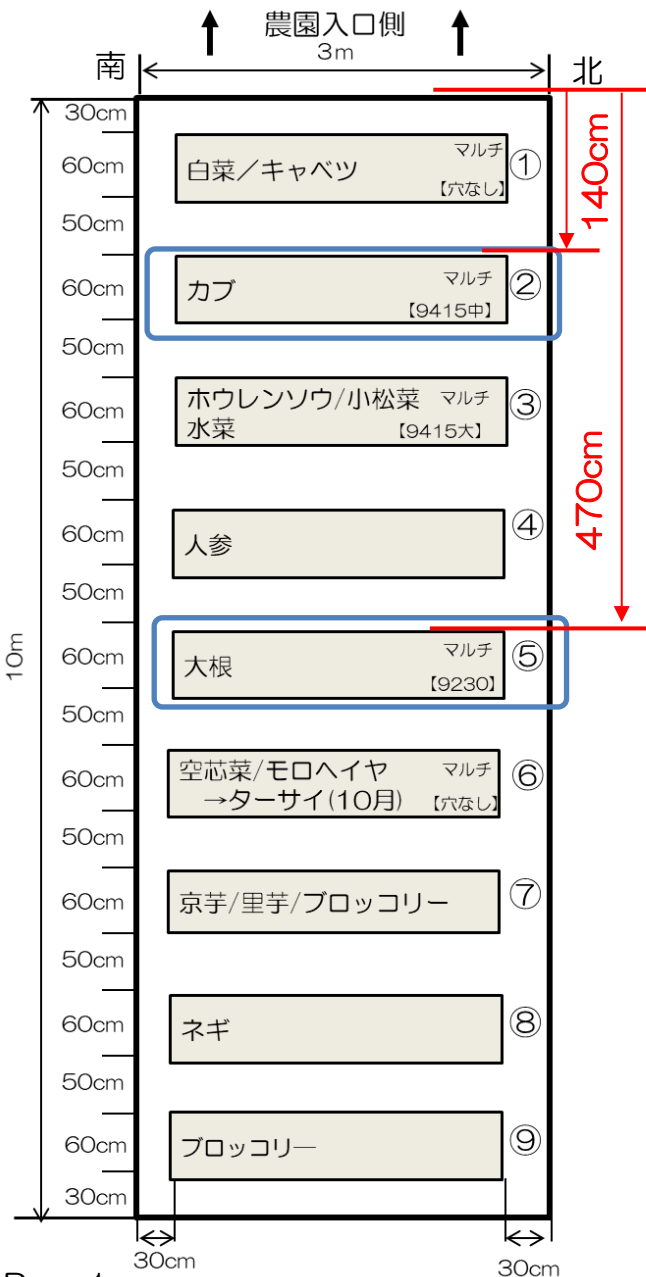
- マルチ切れ端
- スズランテープ
- 割りばし
- 麻ひも

どちらに捨ててもかまいません

はみ出なくなるまでしっかり泥を落としてください(写真ははみだしの例です)

理想な状態





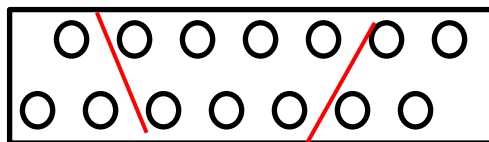
雨天時の種まきは避けてください

□大根の種まき(⑤列目)

- 化成8号1杯、石灰1杯、アズミン1杯
- 施肥後よく耕し、マルチ9230をひく
- 種まき(1穴4粒)

まだの方

※目安：聖護院3~4、三浦3~4、残り青首



※本図は配分の目安です。
穴の数はマルチの引き方で異なります

聖護院 青首 三浦 → 北

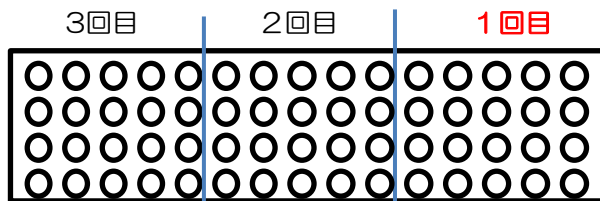
大根の配分(数の変更、種類の変更)は、各区画の好みで
変えていただいて構いません。

□カブの種まき(②列目)

- 施肥(野菜名人/石灰/アズミン 各1杯)
- 施肥後よく耕し、マルチ9415をひく
- 種まき(1穴4粒)

まだの方

2~3回に分ける方、必ず北側から撒くようにしてください

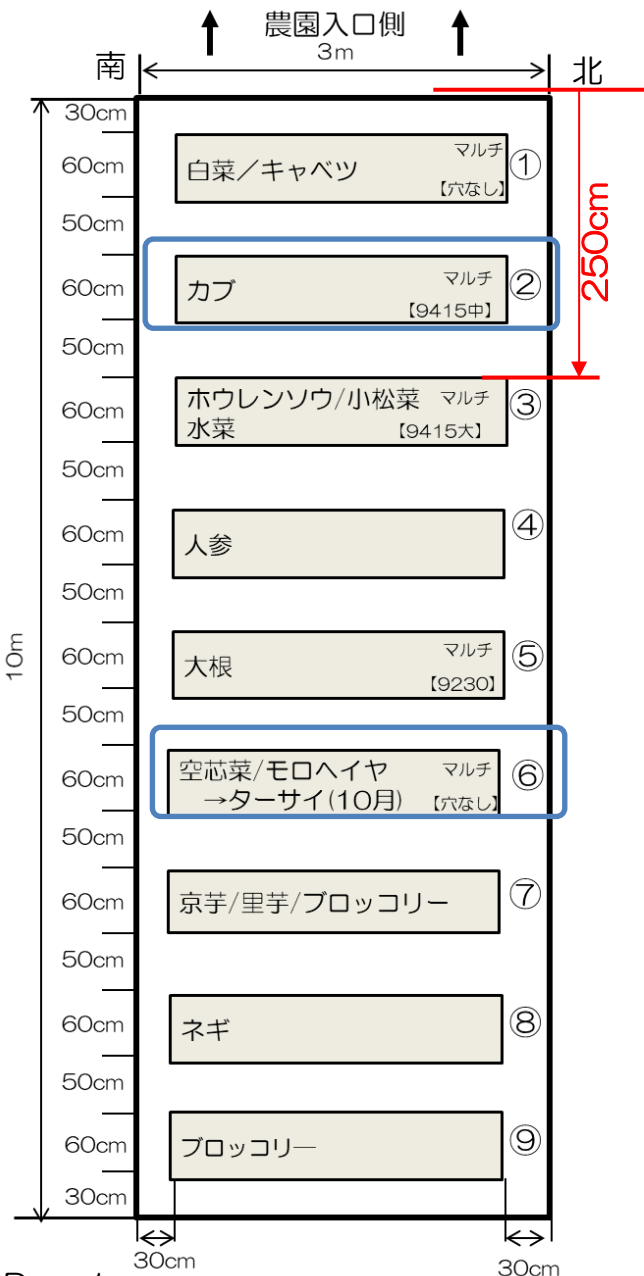


1度に全部撒いても
2~3回に分けて撒いても
構いません

→ 北

※上記は3回に分ける例です

※穴数はマルチの引き方で異なります

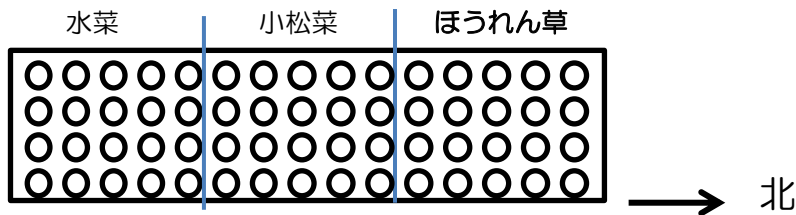


□葉物の種まき(③列目) 10/5~種まき可能です

ナス列撤去後行ってください

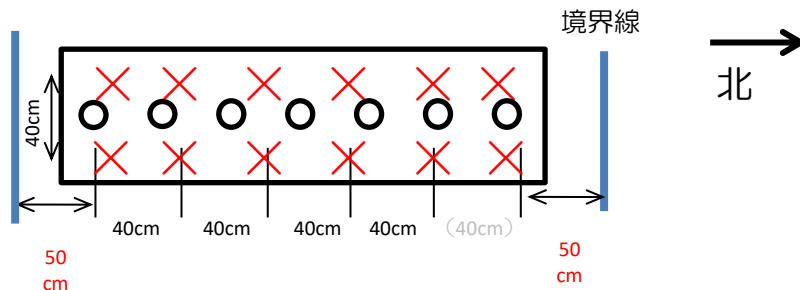
ナスのネットは各自BOXにしまってください

- ・施肥(野菜名人/石灰/アズミン 各1杯)後、うね全体を耕す
- ・マルチ9415をひく (注)表面を平坦にしないと種が水没します
- ・種まき(1穴4粒)



□ターサイ植付(⑥列目)

- ・空芯菜/モロヘイヤを撤去 **マルチはそのまま使用します**
- ・マルチの×部に穴をあける
- ・施肥(野菜名人1杯、石灰1杯) → **あとから追肥でも構いません**
穴から施肥し入れ、鉄棒などで肥料をかき混ぜる
- ・**最大12か所植え付けます 深く植えてください**



**空心菜/モロヘイヤを優先するかは区画判断となります
ターサイは用意した苗が終わり次第終了となります**